

オルガノ株式会社

2019年3月期 上期決算説明会

(証券コード：6368)

2018年11月7日

目 次

1. 2019年3月期上期実績・通期見込
2. 中期経営計画進捗状況
3. 会社概要

目 次

1. 2019年3月期上期実績・通期見込
2. 中期経営計画進捗状況
3. 会社概要

中間決算発表のポイント

<2018年9月期>

- 受注・売上・営業利益とも前期比で増加
- 水処理工エンジは電子産業中心に活況、利益水準も改善
- 機能商品は各部門とも堅調に推移

<2019年3月期見込>

- 電子産業の好調な推移背景に受注・売上は史上最高見込む
- 営業利益も売上増の効果により前期・計画を上回る見込み
- 機能商品は各部門とも堅調な推移を見込む

<中計進捗状況>

- 電子産業分野の受注が当初計画を上回る水準で推移、大型投資の減速を想定していた中期計画の見直しを検討
- 新事業の開拓・機能商品事業の強化は計画通り実施

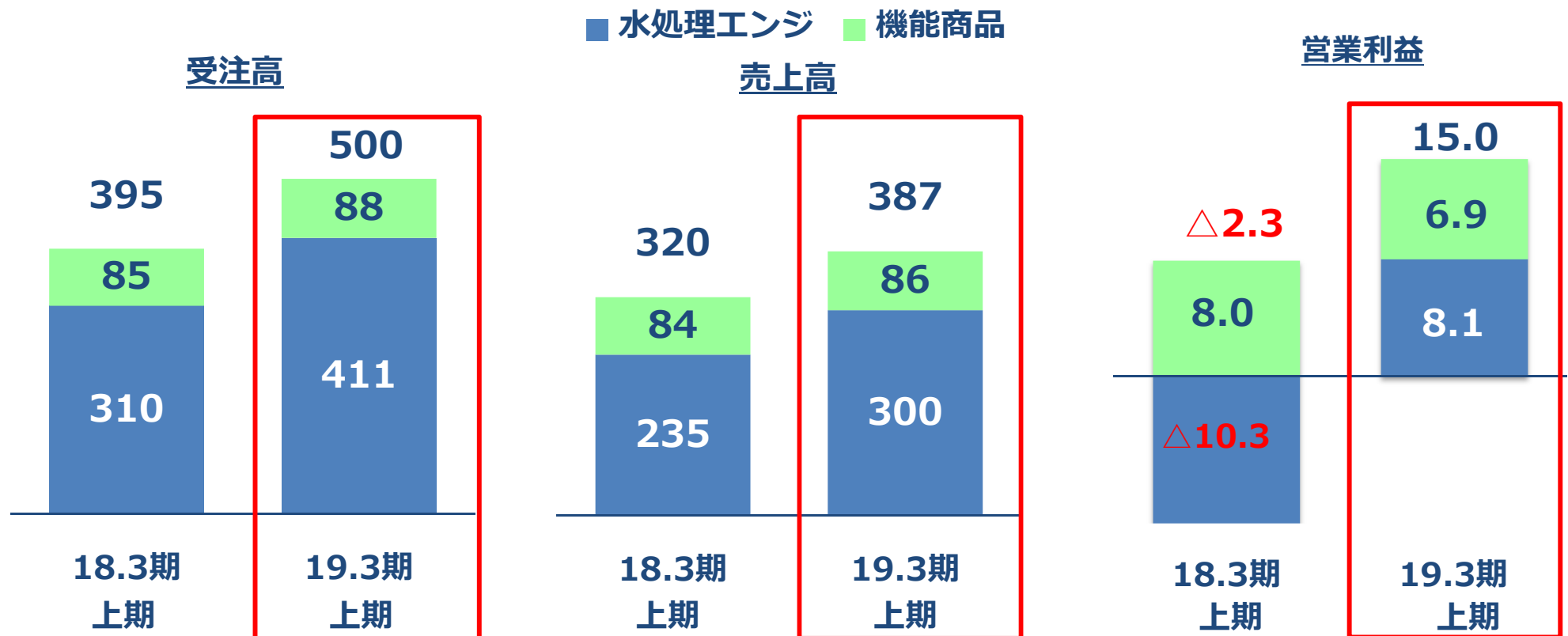
上期実績の概況

受注高：台湾の大型投資回復が奏功し前期比で大幅に増加

売上高：一部案件が下期にずれ込んだものの、電子産業中心に増収

営業利益：プラントの売上増・利益率改善により前期比で増益

(単位：億円)



2019年3月期 上期実績

単位：億円	2017/09 実績	2018/09 計画	2018/09 実績	前期比	計画比
受注高	395	400	500	+ 105	+ 100
売上高	320	400	387	+ 67	△13
売上総利益 (%)	72 (22.5%)	84 (21.0%)	93 (24.1%)	+ 21 (+ 1.6pt)	+ 9 (+ 3.1pt)
販管費	74	78	78	+ 4	+ 0
営業利益 (%)	△2.3 (△0.7%)	6.0 (1.5%)	15.0 (3.9%)	+ 17.3 (+ 4.6pt)	+ 9.0 (+ 2.4pt)
経常利益	△1.8	5.5	15.4	+ 17.2	+ 9.9
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△2.5	3.2	9.1	+ 11.6	+ 5.9

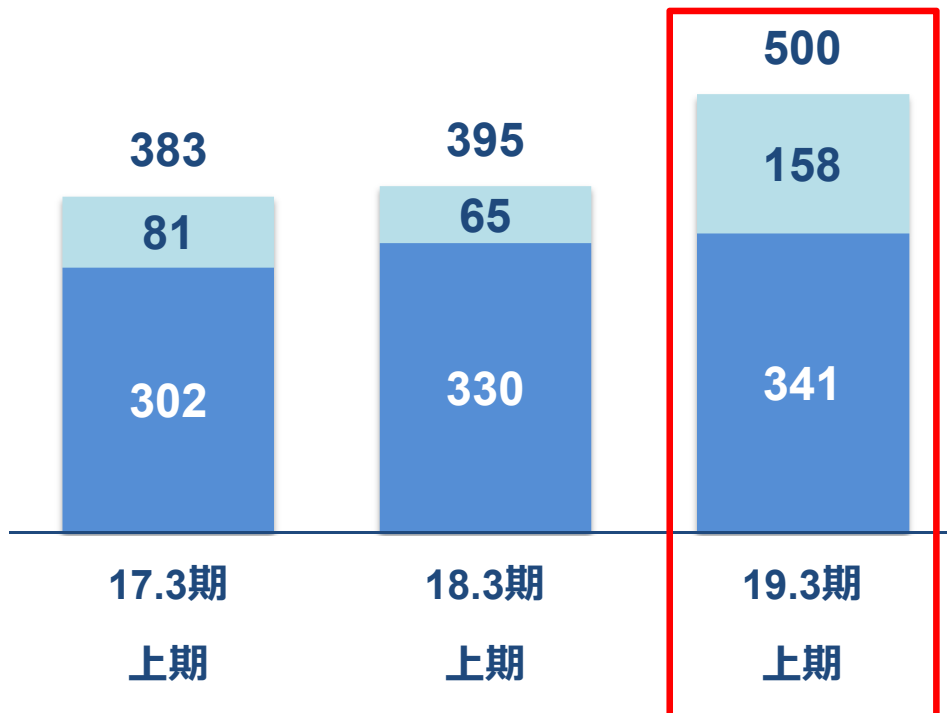
上期受注高の状況

- 台湾・中国の伸長により受注高は前期比で大幅拡大
 - ⇒ 停滞の見られた台湾の大型投資が回復（半導体関連）
 - ⇒ 中国では半導体を中心に電子産業関連の大型投資が続く
 - ⇒ 国内でも電子産業・一般産業を中心に設備投資は活発

(単位：億円)

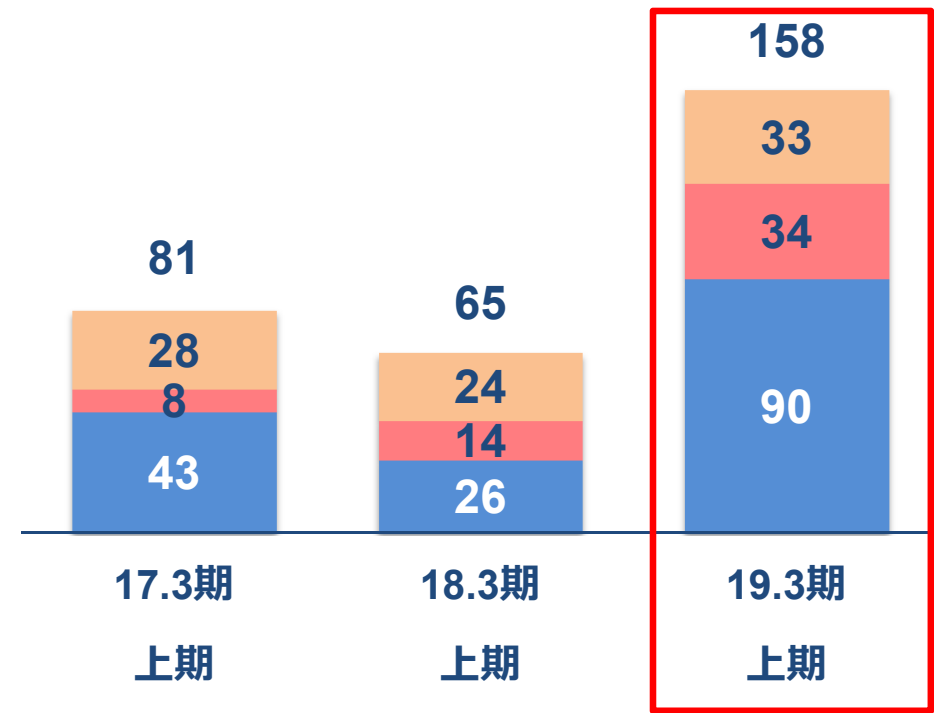
国内・海外別 受注高

■ 国内 ■ 海外



海外地域別 受注高

■ 台湾 ■ 中国 ■ 東南アジア他



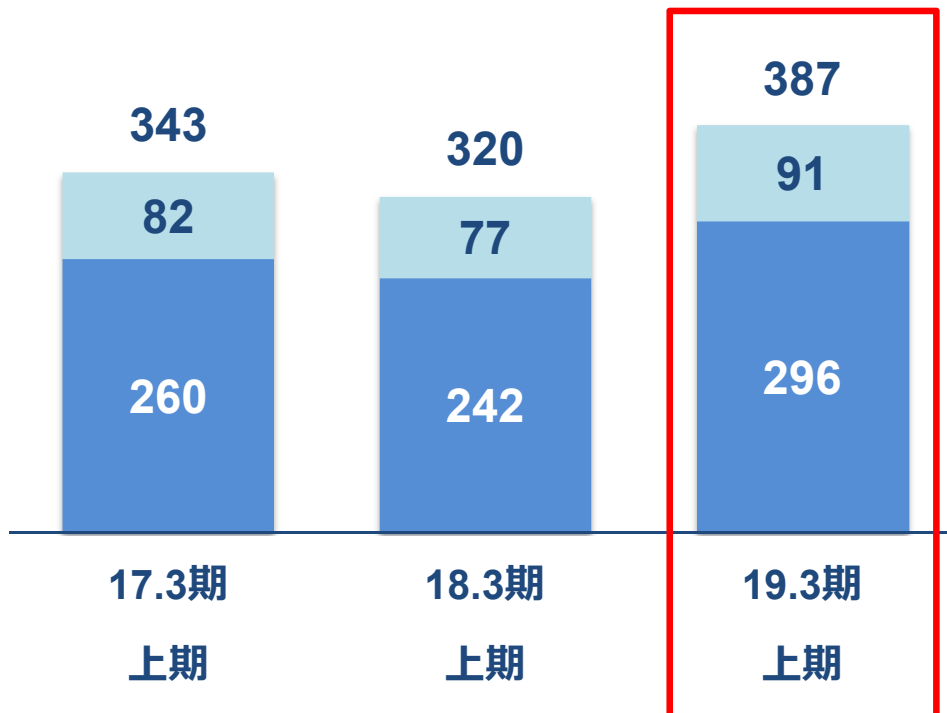
上期売上高の状況

- 国内・海外とも前期比で増加、上期としては高い水準の売上計上
 - ⇒ 上期受注した台湾の大型案件は下期以降に売上計上
 - ⇒ 国内では電子産業・一般産業を中心に売上拡大

(単位：億円)

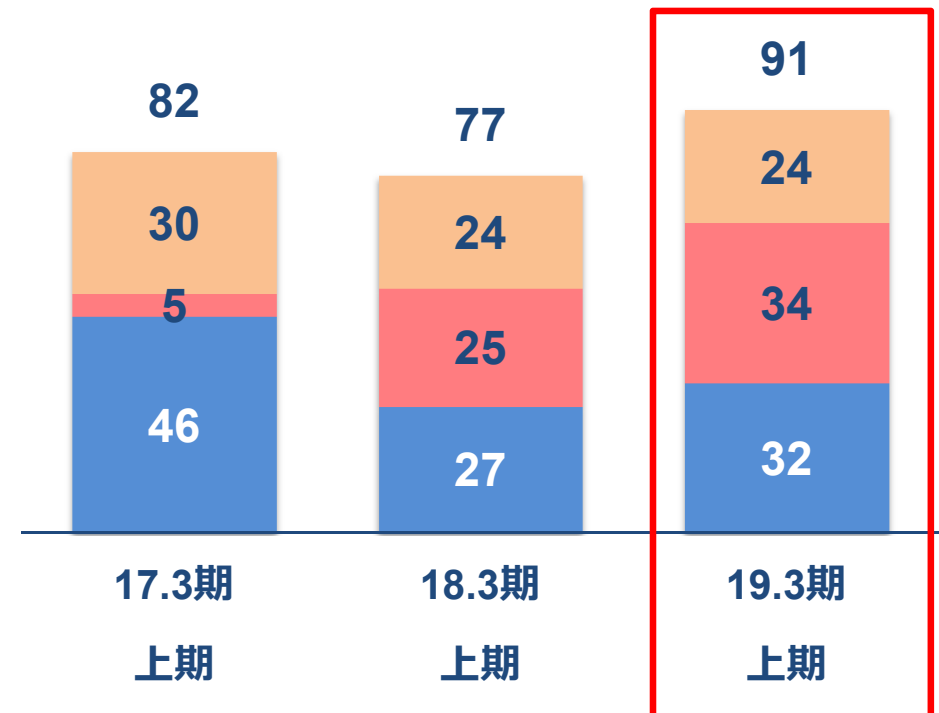
国内・海外別 売上高

■ 国内 ■ 海外



海外地域別 売上高

■ 台湾 ■ 中国 ■ 東南アジア他



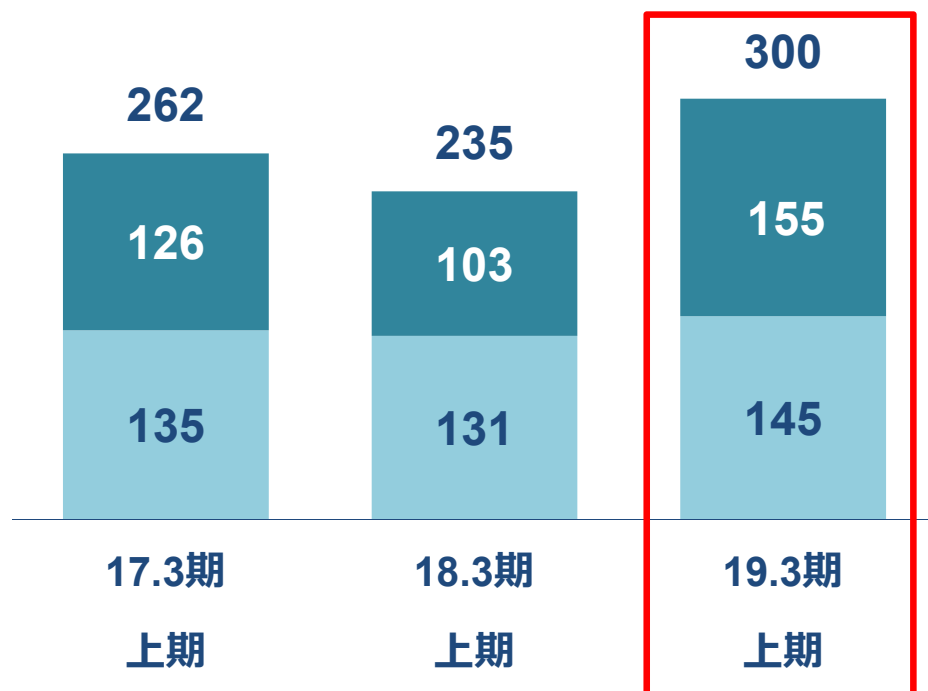
水処理エンジニア事業：上期売上高

- ・ プラント中心に売上拡大、ソリューションも好調
- ・ 電子産業が大幅に売上拡大、一般産業も堅調に推移
⇒ 電子産業は国内のプラント売上中心に拡大

(単位：億円)

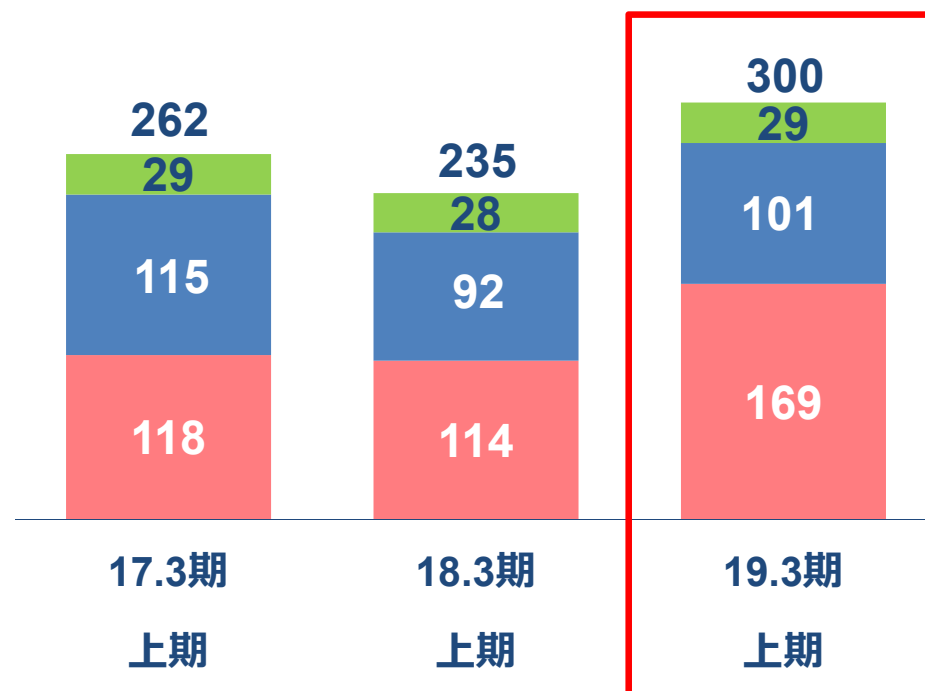
水エンジニア事業：部門別売上高

■ソリューション ■プラント



水エンジニア事業：顧客別売上高

■電子産業 ■一般産業 ■電力・上下水



機能商品事業：上期売上高

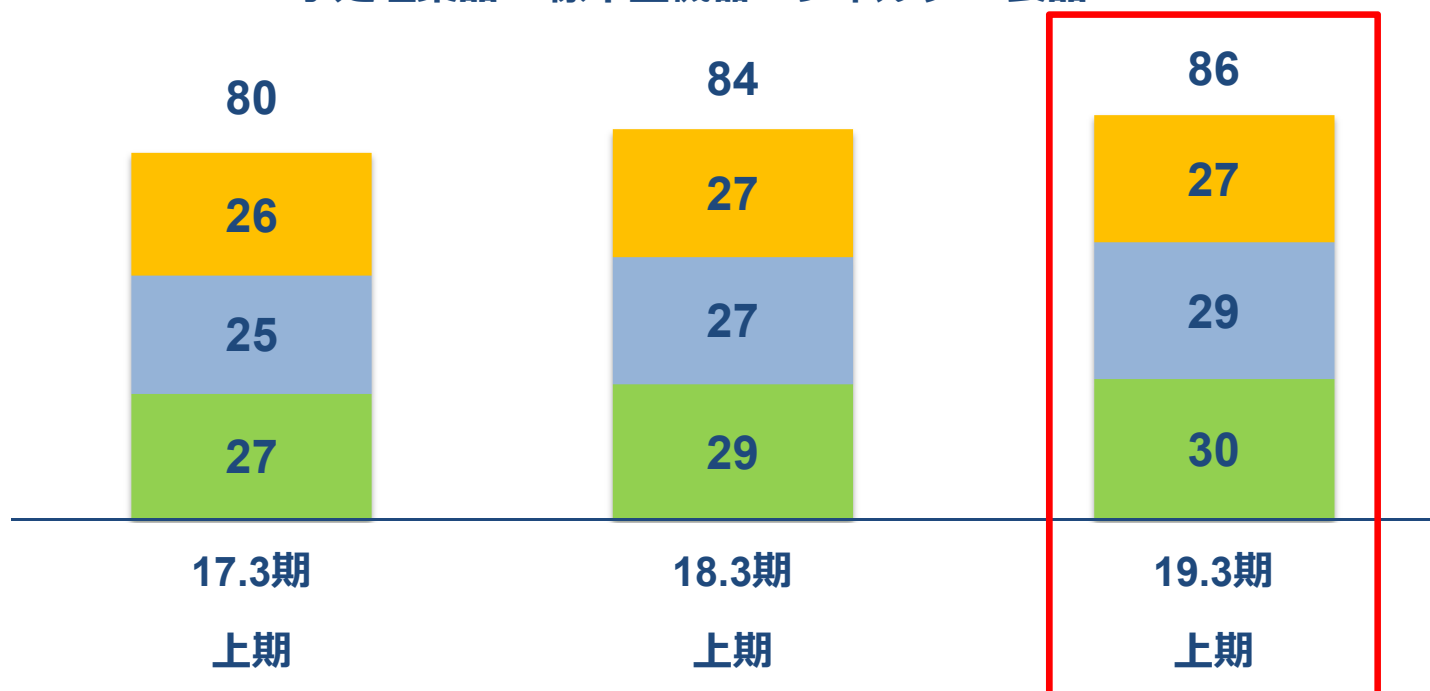
- 機能商品事業は各部門とも着実に売上拡大

⇒国内の設備投資・生産が高水準で推移したことを背景に
水処理薬品・標準型機器・食品の各分野とも堅調に推移

(単位：億円)

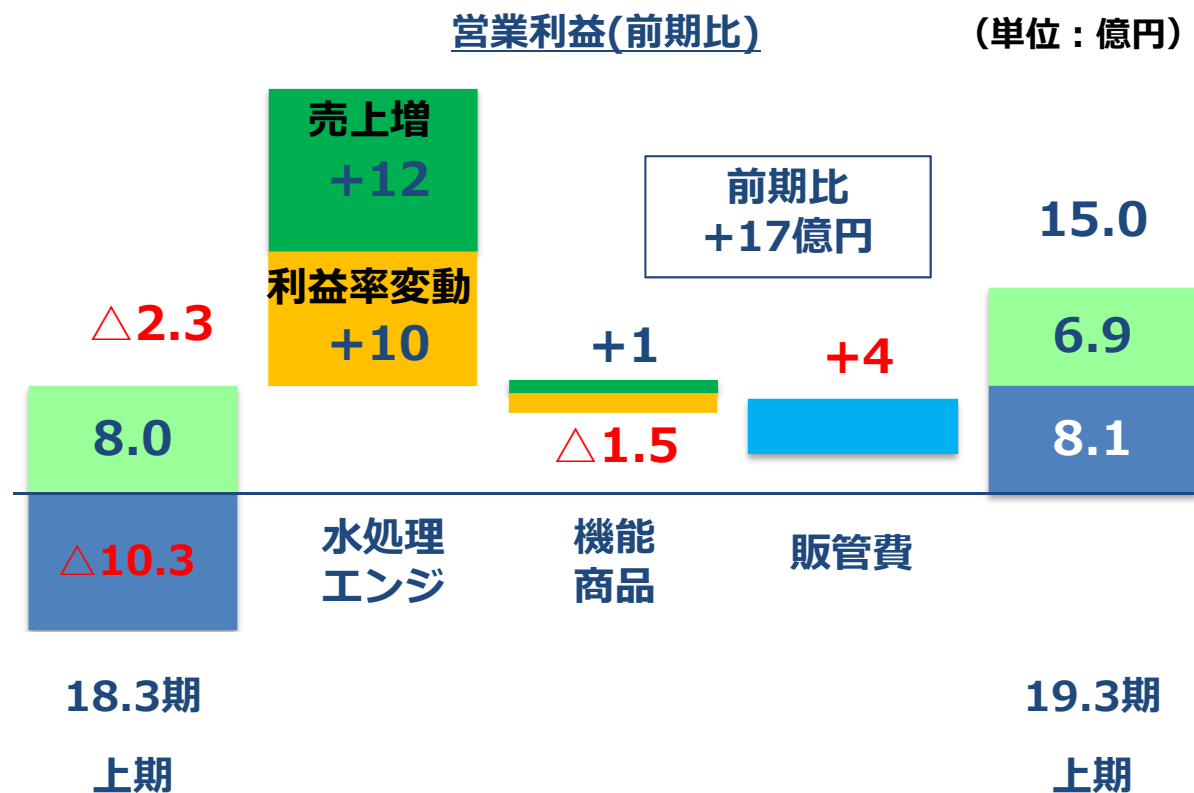
機能商品事業 部門別売上高

■ 水処理薬品 ■ 標準型機器・フィルタ ■ 食品



上期営業利益分析

水処理エンジニア：電子産業中心に売上拡大・プラントの利益率改善が奏功
機能商品：売上拡大も製造コスト等の費用増によりほぼ横ばい
販管費：研究開発や体制強化に伴ない販管費が増加



通期見込の概況

受注高：台湾電子産業の大型投資回復により前期比増見込む

売上高：日・中・台の電子産業分野で売上拡大見込む

営業利益：売上増に加え、プラントの利益率改善による増益見込む

(単位：億円)

■ 水処理エンジ ■ 機能商品

受注高

売上高

営業利益



2019年3月期 通期見込

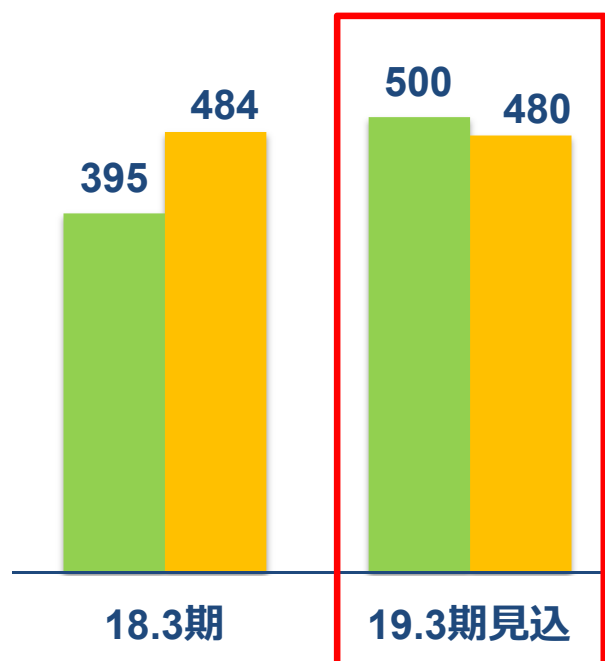
単位：億円	18年3月期 実績	19年3月期 計画	19年3月期 見込	前期比	計画比
受注高	880	870	980	+ 100	+ 110
売上高	792	890	910	+ 118	+ 20
売上総利益 (%)	191 (24.2%)	199 (22.4%)	212 (23.3%)	+ 21 (△ 0.9pt)	+ 13 (+ 0.9pt)
販管費	153	157	157	+ 4	+ 0
営業利益 (%)	38 (4.8%)	42 (4.7%)	55 (6.0%)	+ 17 (+ 1.2pt)	+ 13 (+ 1.3pt)
経常利益	39	41	54	+ 15	+ 13
親会社株主に 帰属する 当期純利益	27	28	37	+ 10	+ 9

受注・売上・営業利益の動向

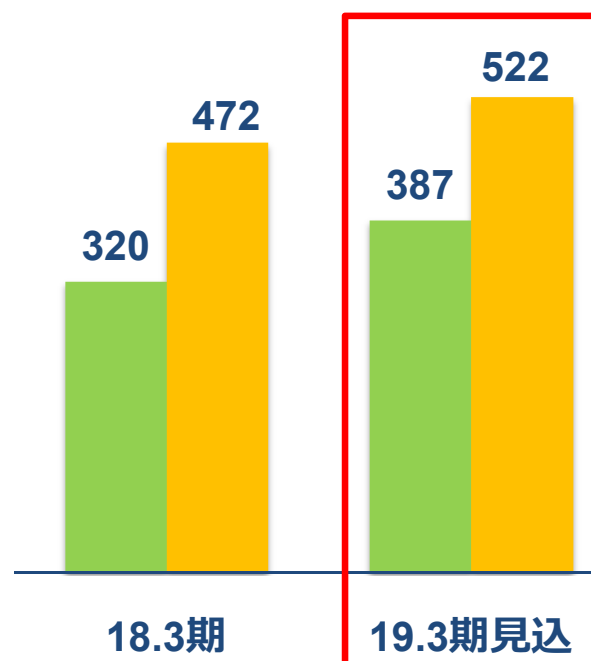
- ・ 受注高は電子産業中心に前下期から高水準で推移
⇒前期好調だった日本・中国に加え台湾の大型投資回復も寄与
- ・ 売上高・営業利益は下期に偏重する傾向
⇒下期に納期を迎えるプラント案件多く、原価改善効果も下期に集中

■ 上期 ■ 下期 (単位：億円)

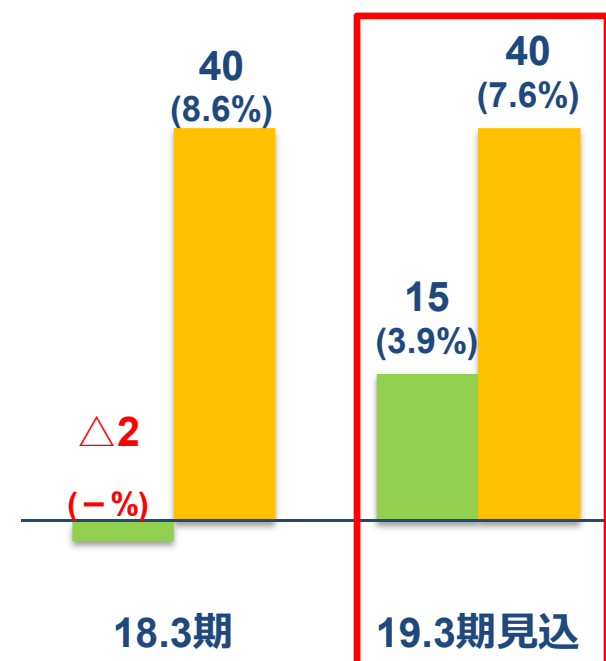
受注高(上下別)



売上高(上下別)



営業利益・率(上下別)

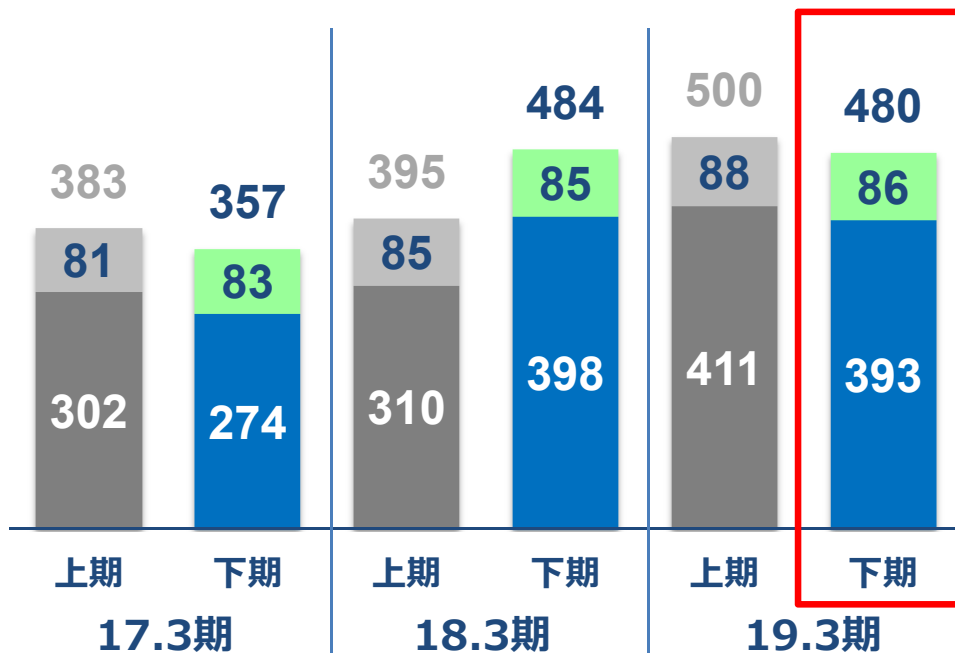


通期受注高見込

- 受注高は電子産業中心に前下期から高水準で推移
⇒前期より好調の日本・中国に加え今期は台湾の大型投資も回復
- 通期では史上最高となる受注高980億円に挑戦
⇒先行きの不透明感あるも電子産業中心に足下の受注環境は好調

期間受注高推移

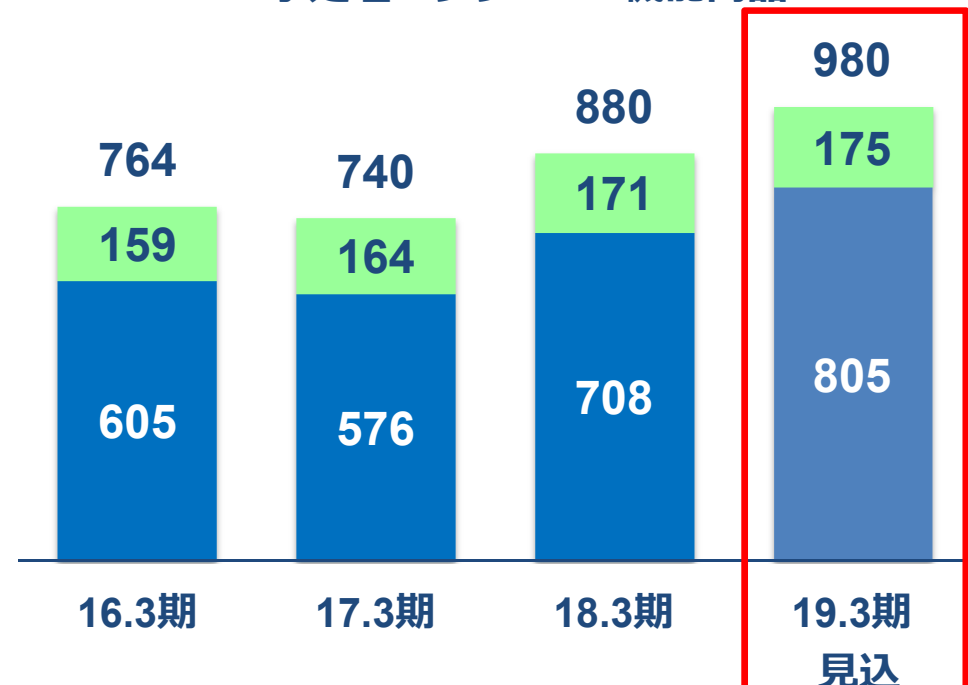
■ 水処理エンジ ■ 機能商品



通期受注高推移

(単位：億円)

■ 水処理エンジ ■ 機能商品

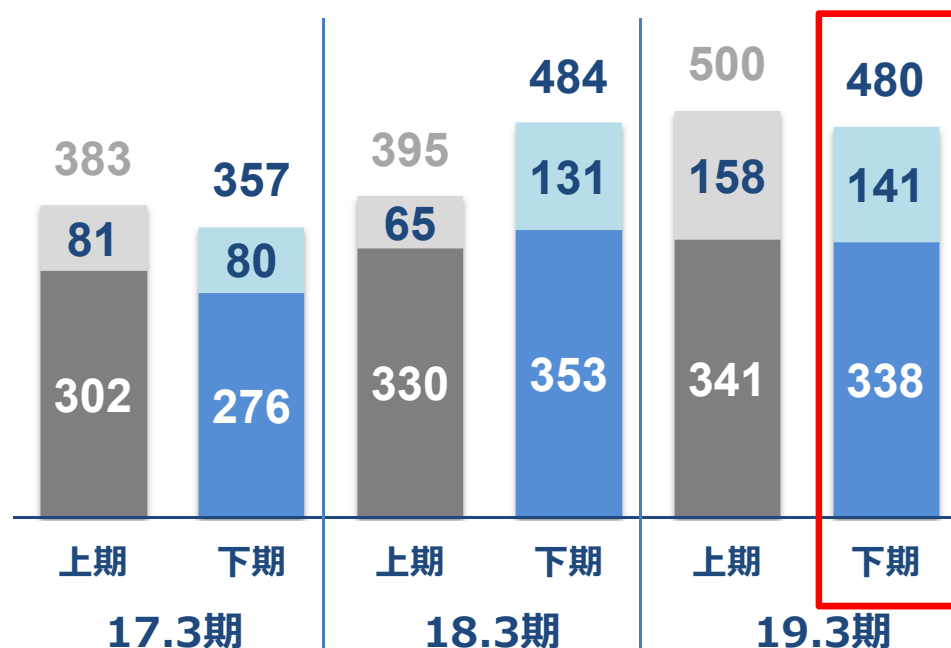


通期受注高見込：国内・海外別

- 国内は前期から高い水準の受注が継続する見込
⇒電子産業中心に設備投資が活発、一般産業やソリューションも堅調
- 海外は台湾の投資回復により大幅に拡大
⇒活発な投資続く中国に加え、やや停滞見られた台湾の投資回復が寄与

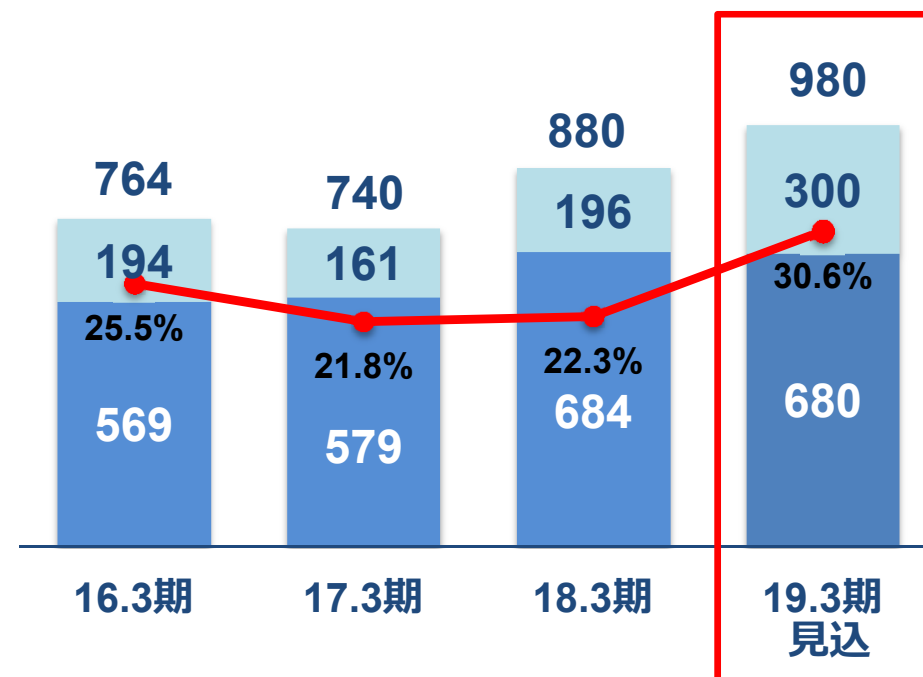
国内・海外別 受注高

■ 国内 ■ 海外



国内・海外別 受注高 (単位：億円)

■ 国内 ■ 海外 ● 海外比率

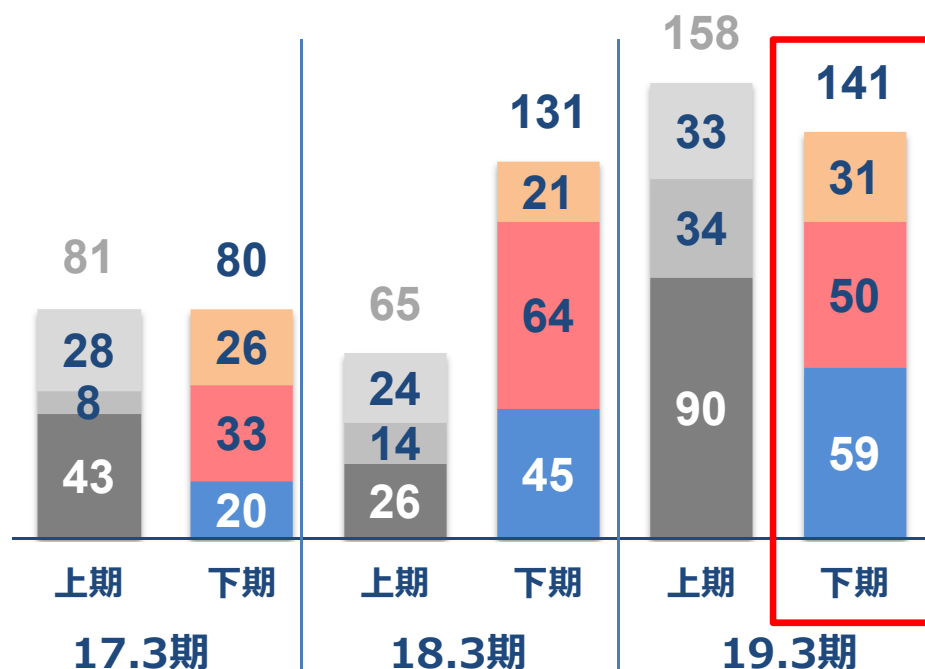


通期受注高見込：海外地域別

- 台湾の受注高が大幅に増加する見込
⇒やや停滞していた台湾の大型投資が回復、下期も複数の案件を受注見込
- 中国では活発な設備投資が続く見込
⇒半導体を中心に大型の設備投資が継続

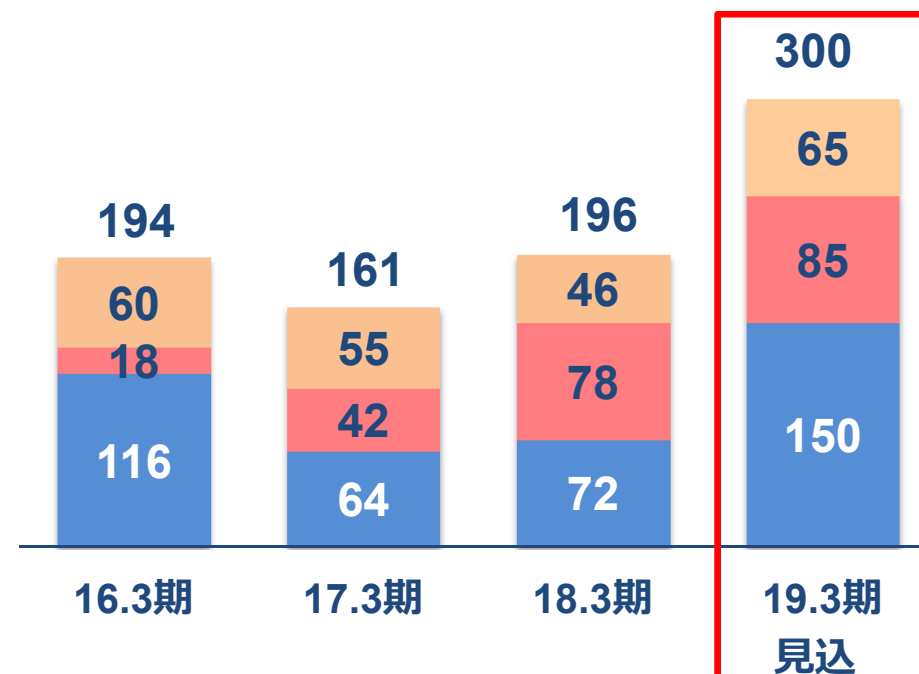
海外地域別 受注高

■台湾 ■中国 ■東南アジア他



海外地域別 受注高 (単位：億円)

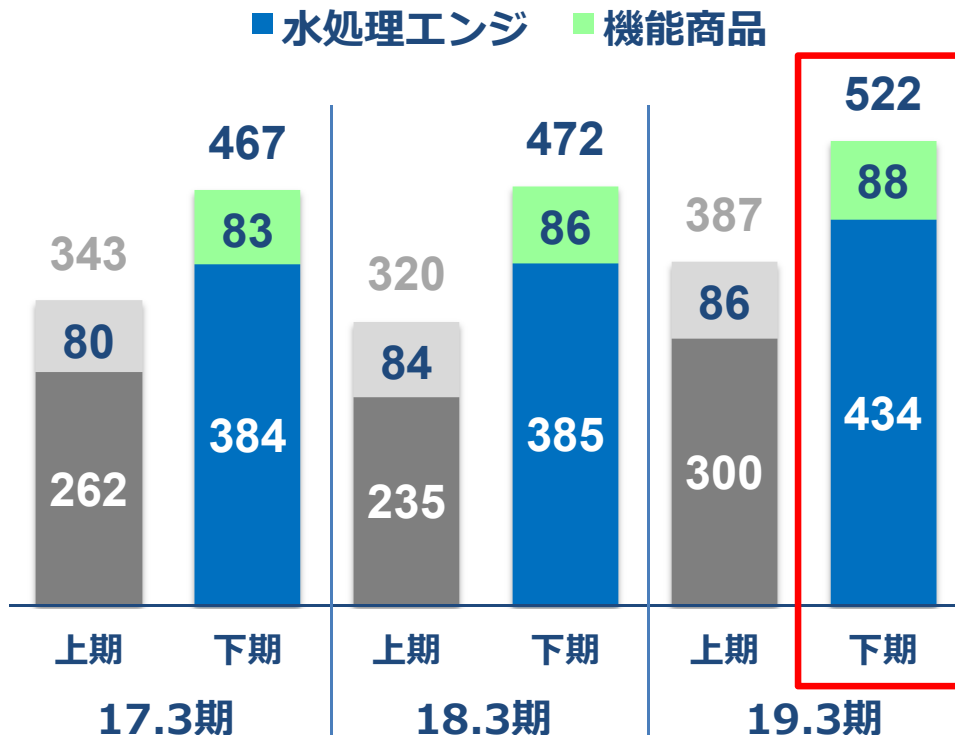
■台湾 ■中国 ■東南アジア他



通期売上高見込

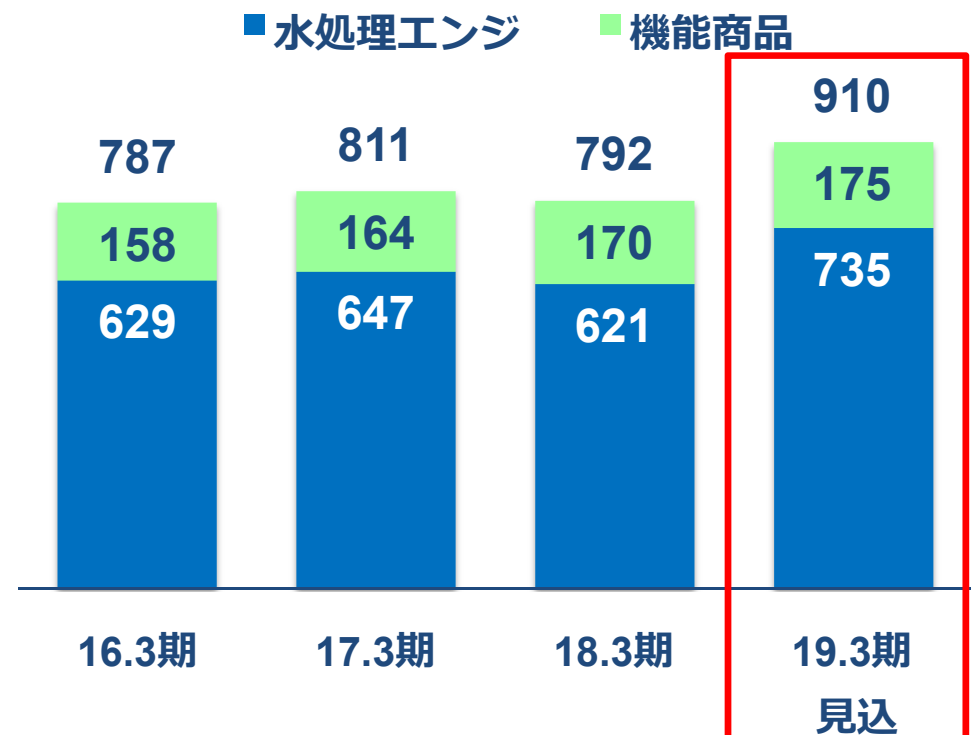
- **上期好調の受注を受け、電子産業を中心に売上が伸長**
⇒中国・国内電子産業の売上が拡大、一般産業・機能商品も堅調な推移見込む
- **通期では史上最高となる売上高910億円に挑戦**
⇒上期に受注した台湾の大型案件の売上進捗見込む。売上レコードに挑戦

期間売上高推移



通期売上高推移

(単位：億円)

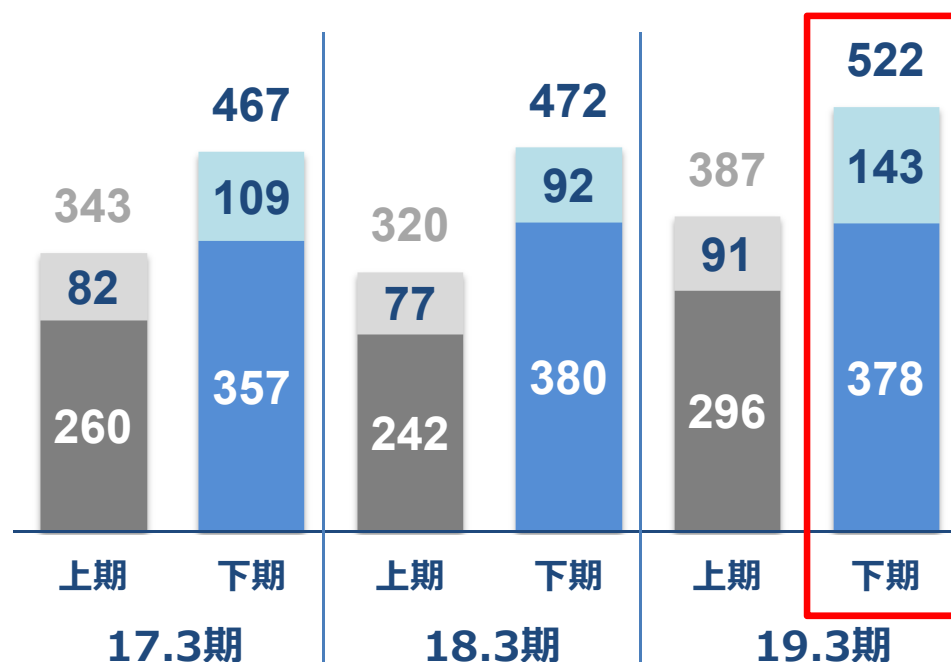


通期売上高見込：国内・海外別

- 国内、海外とも前期比で売上拡大を見込む
 - ⇒ 海外は中国・台湾の電子産業を中心に売上拡大見込む
 - ⇒ 国内では電子産業・一般産業を中心に売上拡大

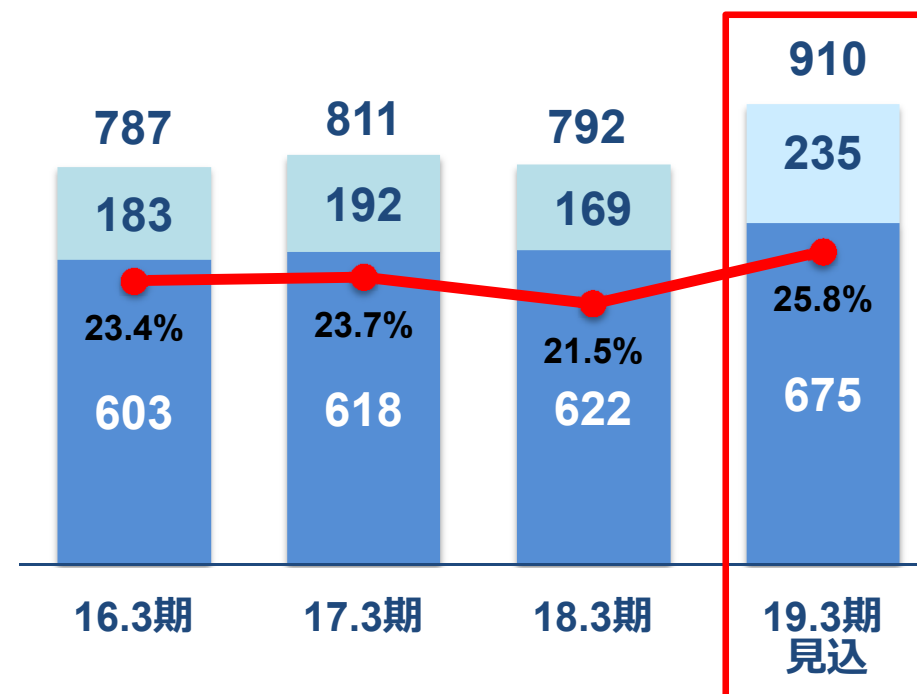
国内・海外別 売上高

■ 国内 ■ 海外



国内・海外別 売上高 (単位：億円)

■ 国内 ■ 海外 ● 海外比率



通期売上高見込：海外売上高・地域別

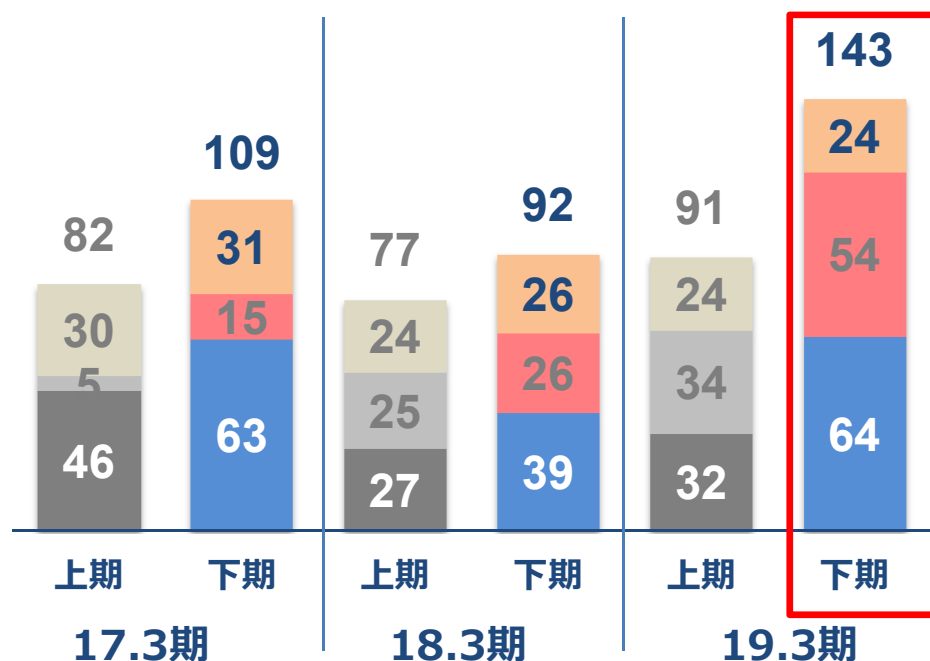
- 海外は台湾・中国における電子産業分野の売上拡大見込む

⇒ 台湾は大型投資の回復を受け売上拡大の見込み

⇒ 中国では活発な設備投資が継続、売上高が大きく伸長

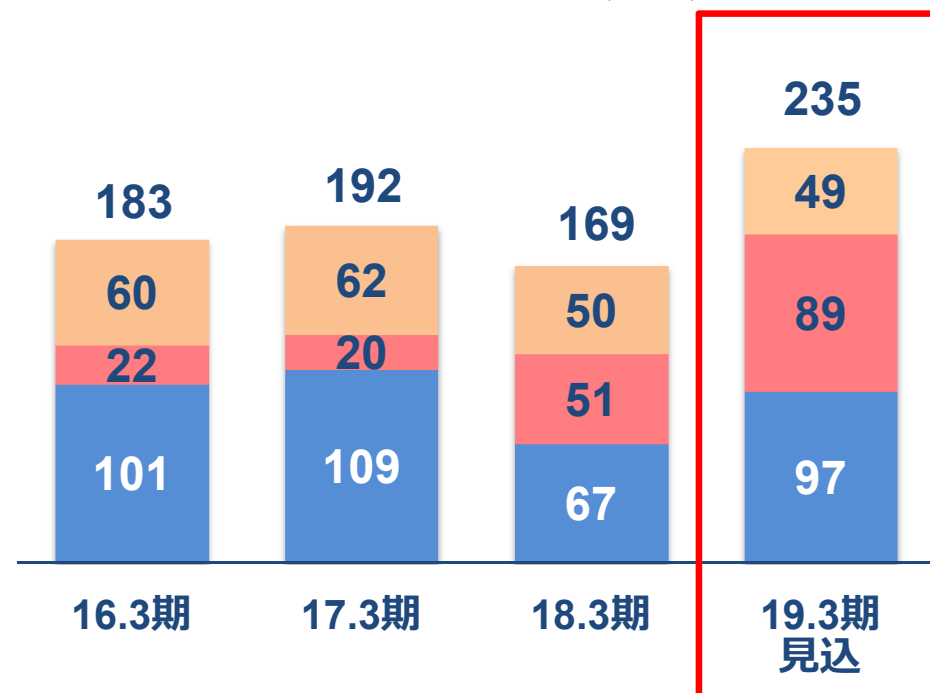
海外地域別 売上高

■ 台湾 ■ 中国 ■ 東南アジア他



海外地域別 売上高 (単位：億円)

■ 台湾 ■ 中国 ■ 東南アジア他



水エンジ事業：プラント・ソリューション売上高

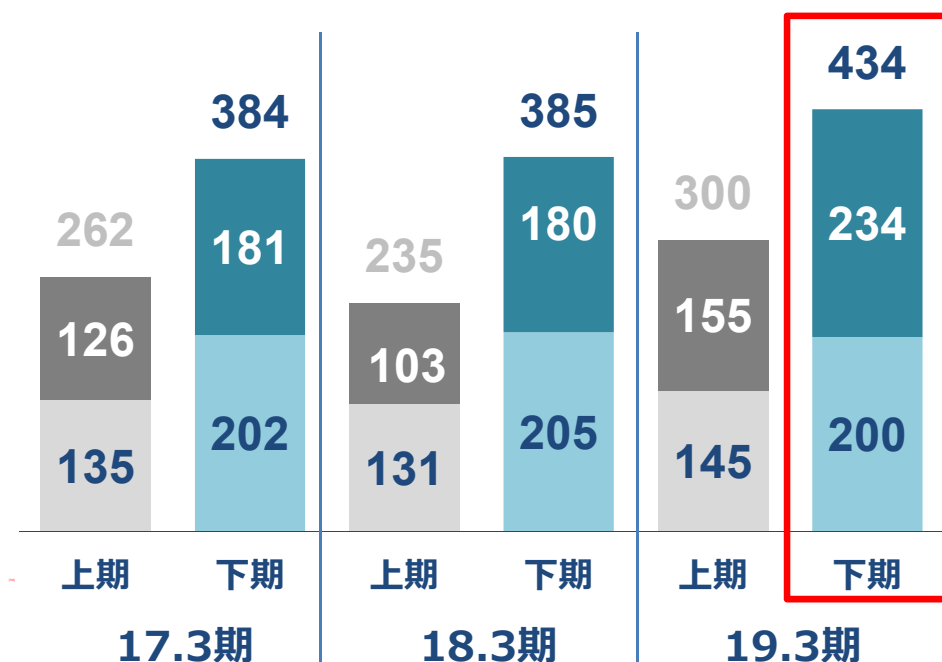
- プラント中心に売上拡大見込む。ソリューションも好調に推移

⇒ プラントは日・中・台の電子産業・国内の一般産業中心に拡大

⇒ ソリューションは電子産業・一般産業とも堅調な推移見込む

水エンジ事業：部門別売上高

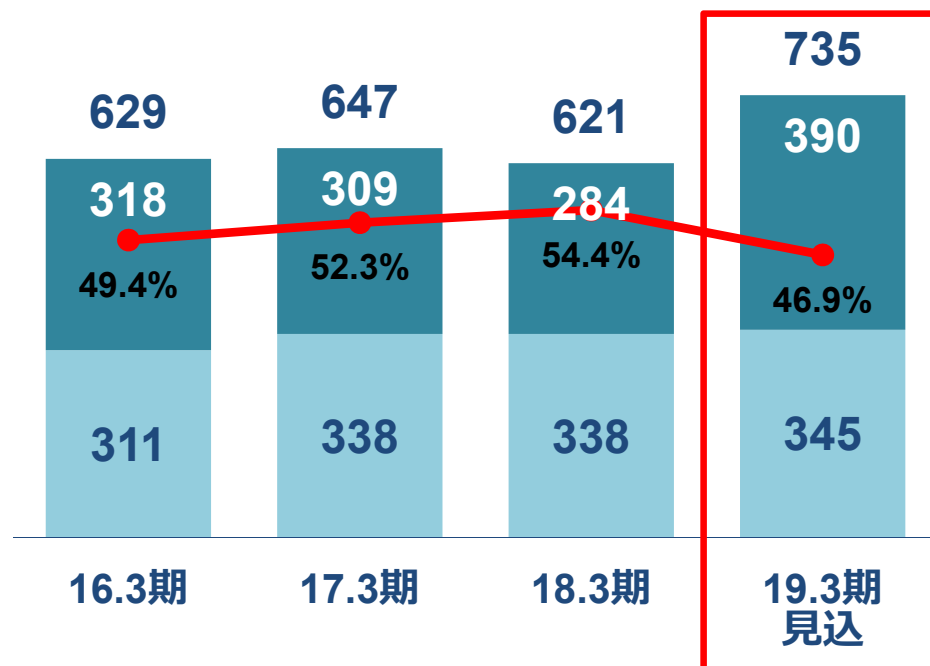
■ソリューション ■プラント



(単位：億円)

水エンジ事業：部門別売上高

■ソリューション ■プラント ●ソリューション比率



水エンジニアリング事業：顧客分野別売上高

- 電力・上下水はやや低調も、電子産業・一般産業の拡大見込む

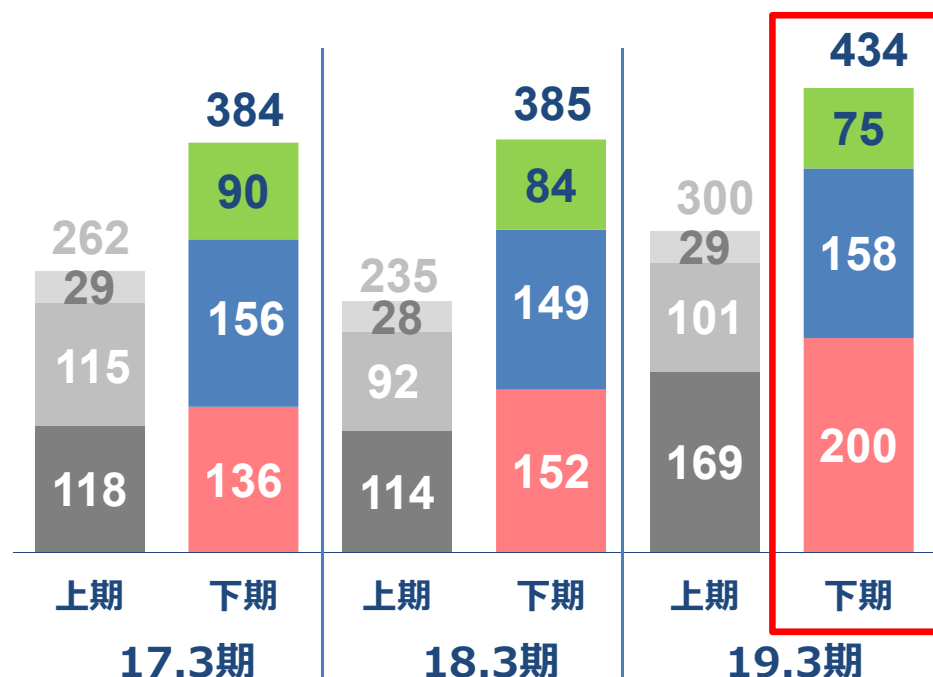
⇒ 電子産業は日・中・台でプラント・ソリューションの売上拡大

⇒ 一般産業は日本での売上回復が寄与

(単位：億円)

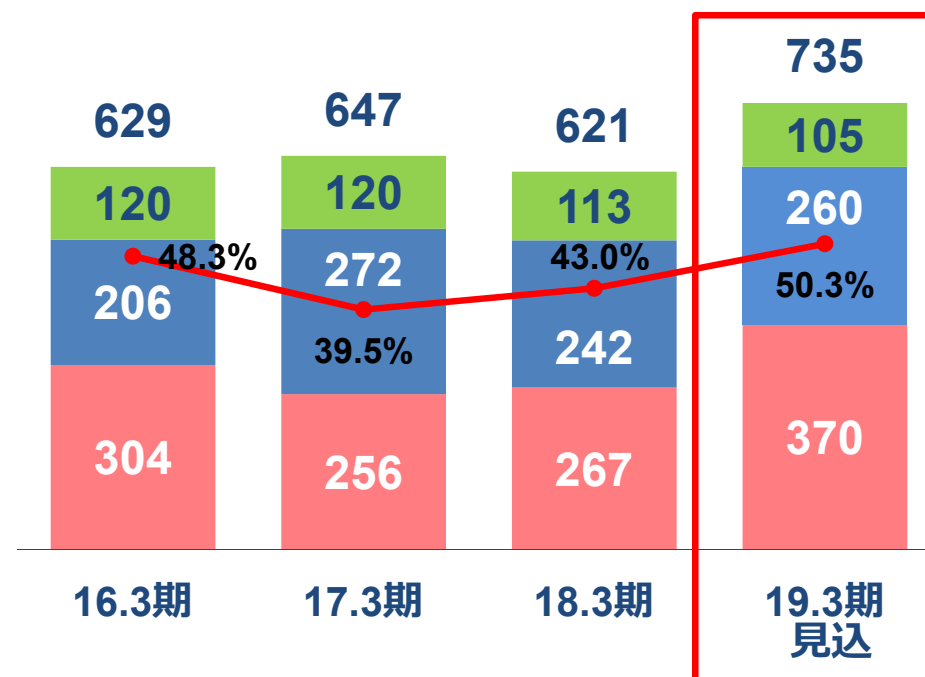
水エンジニアリング事業：顧客別売上高

■ 電子産業 ■ 一般産業 ■ 電力・上下水



水エンジニアリング事業：顧客別売上高

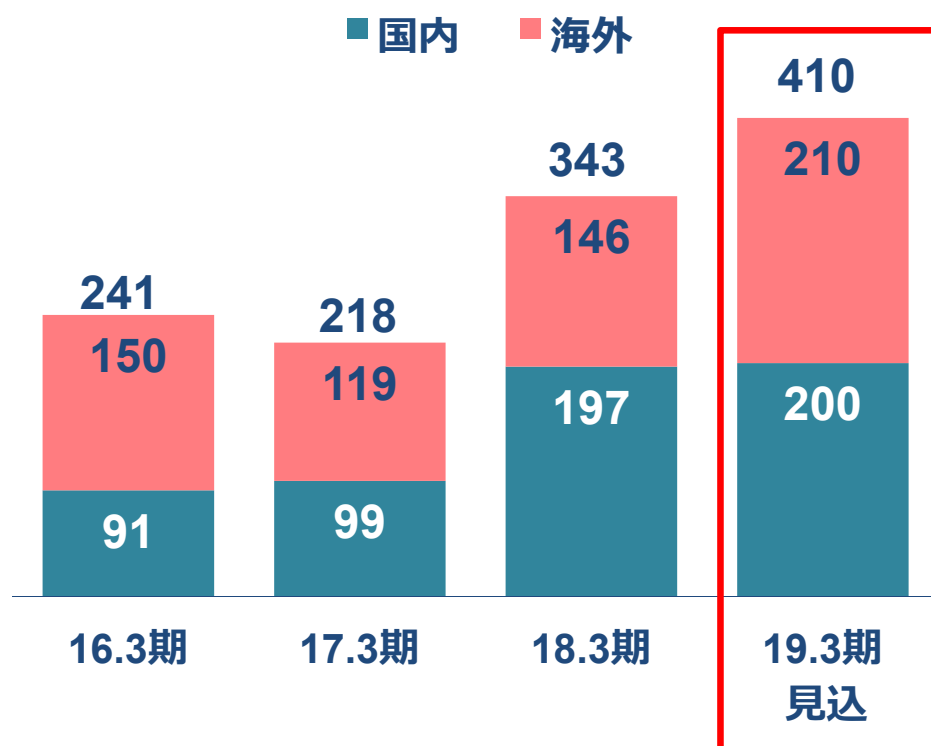
■ 電子産業 ■ 一般産業 ■ 電力・上下水 ● 電子産業比率



電子産業向け 受注・売上計画（水エンジ事業）

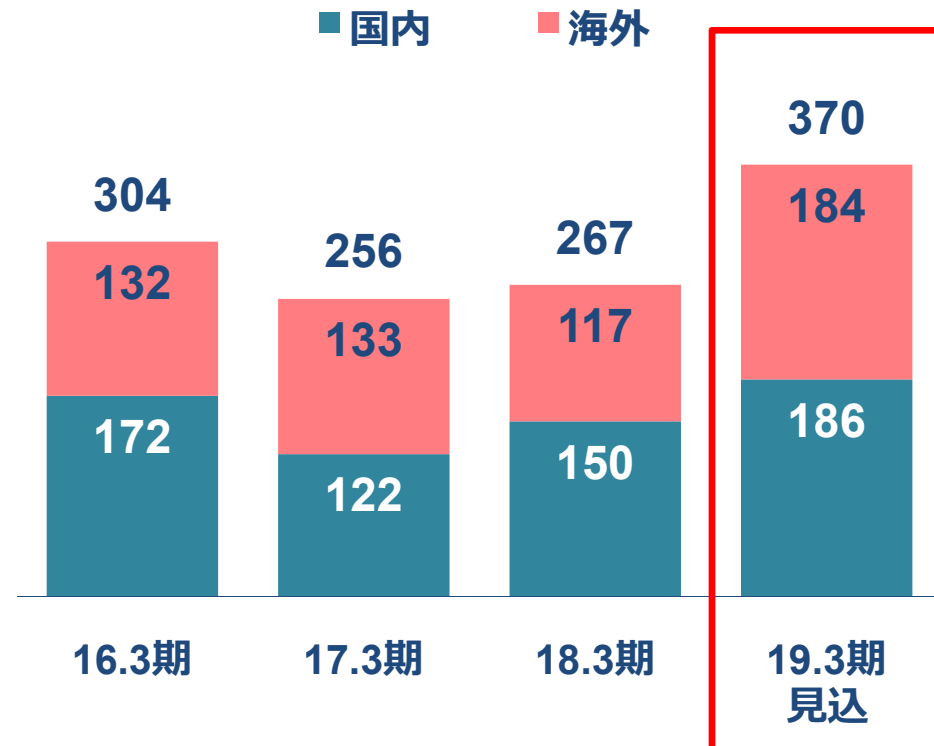
- 受注高は国内で高い水準を維持、海外は台湾中心に拡大見込む
⇒ 好調続く中国に加え、停滞していた台湾の大型投資回復が寄与
- 売上高は国内・中国・台湾の売上伸長を見込む
⇒ 大型プラントの売上に加え、ソリューションも好調に推移

電子産業向け受注高



電子産業向け売上高

（単位：億円）



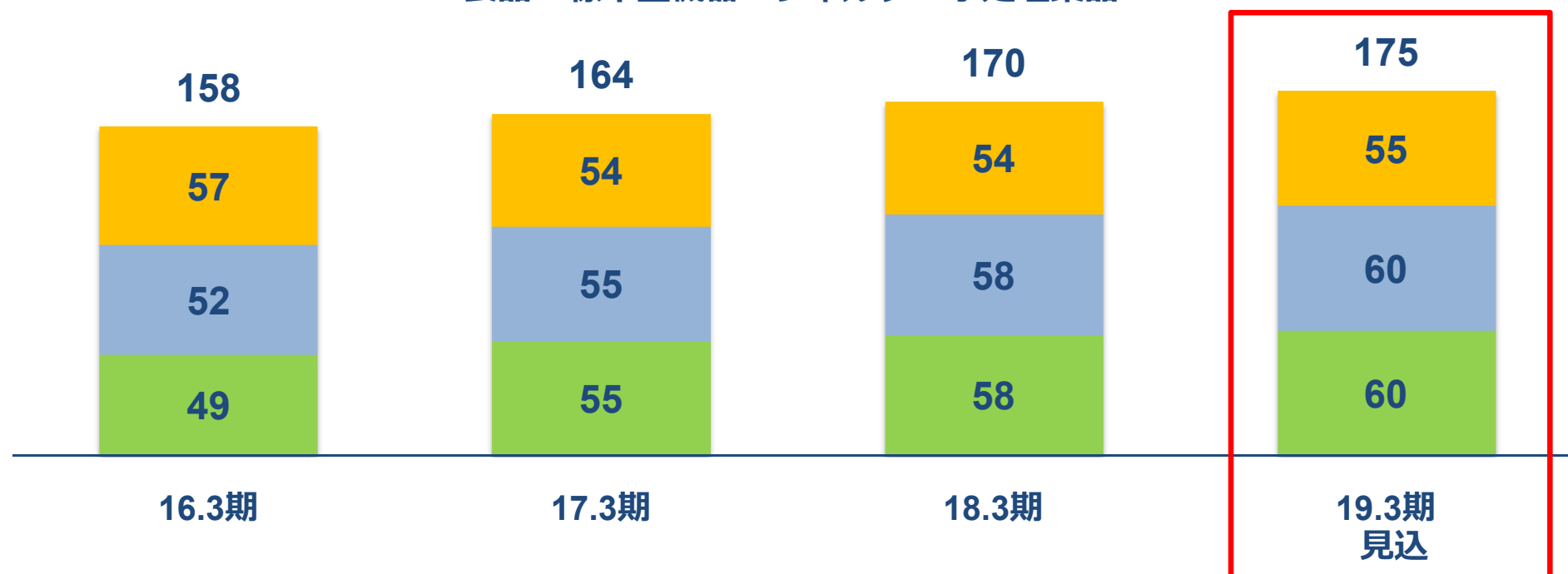
機能商品事業：売上高の状況

- 機能商品事業は各部門とも着実な売上拡大を見込む
 - 国内販売中心のため、海外展開を強化
- ⇒中国・台湾・アジアで水処理薬品・標準型機器の販売体制を強化

機能商品事業 部門別売上高

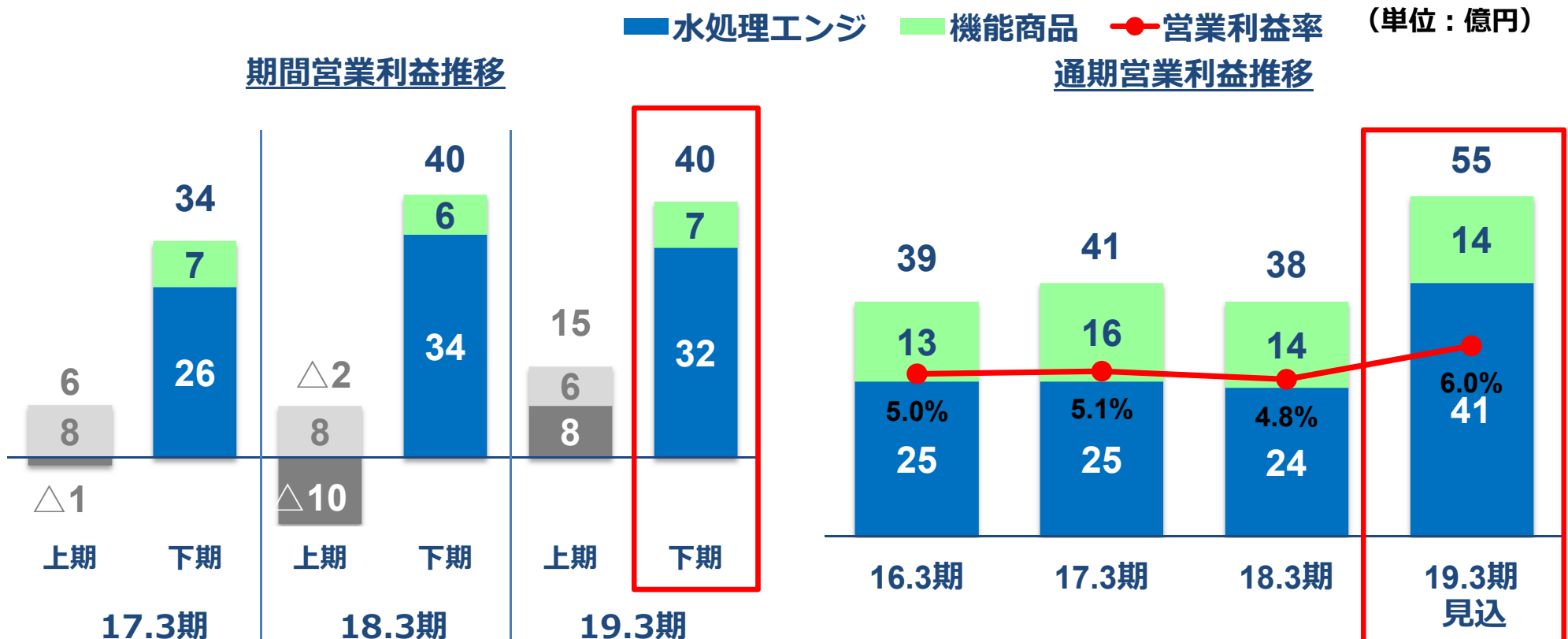
(単位：億円)

■ 食品 ■ 標準型機器・フィルタ ■ 水処理薬品



通期営業利益見込

- 水処理エンジの利益拡大により前期比での増益を見込む
⇒売上拡大による利益増に加え、プロジェクトの利益率改善が寄与



通期営業利益見込分析

- 水処理エンジニア**：電子産業の売上拡大が寄与。プラントの収益性は改善も
売上構成の変動によってセグメントの利益率は低下
- 機能商品**：売上拡大も製造コスト等の費用増によりほぼ横ばい
- 販管費**：研究開発や体制強化に伴う販管費が増加

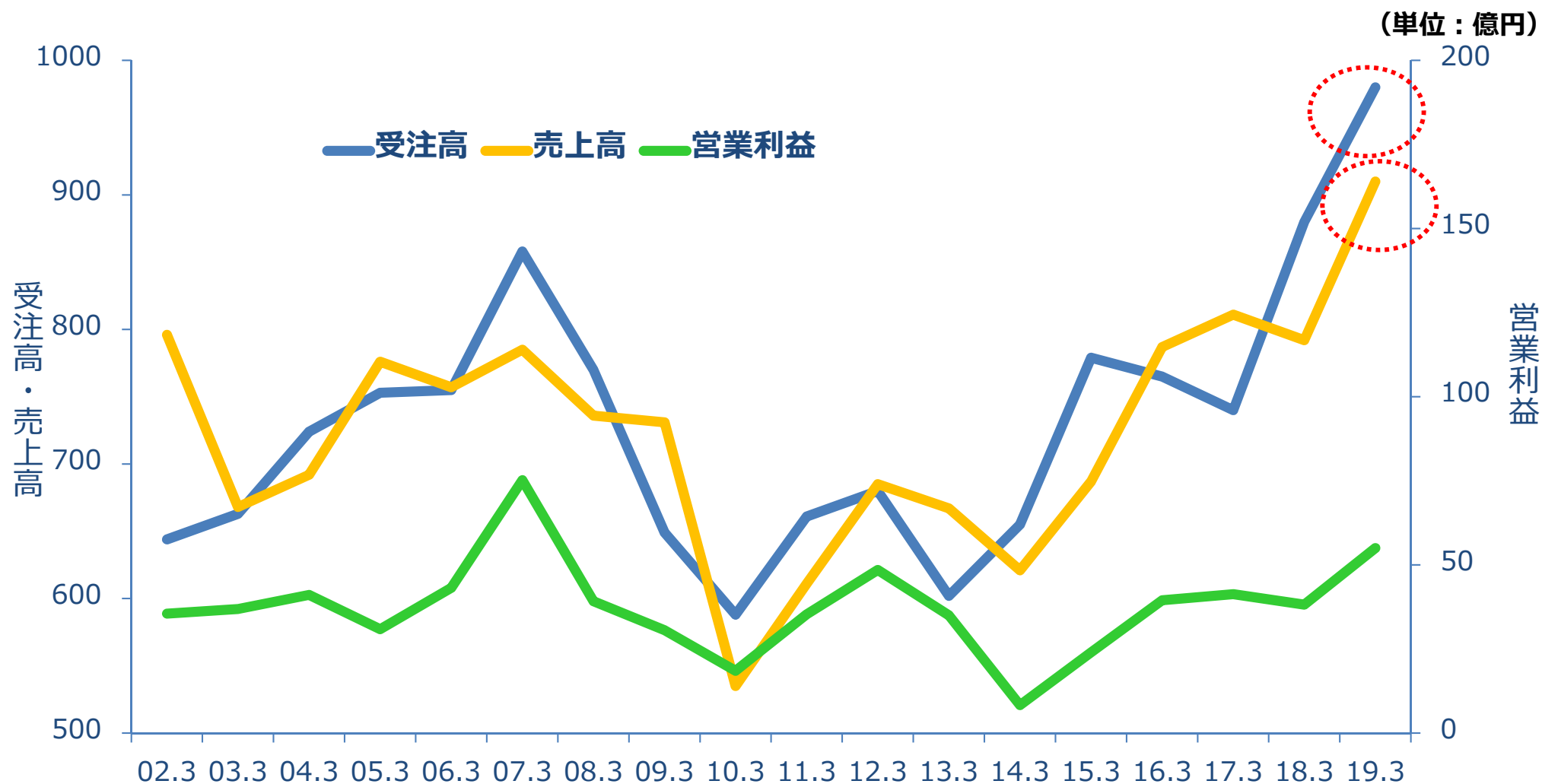
営業利益(前期比)

(単位：億円)



連結業績の推移

受注高・売上高は過去最高値、新しい成長フェーズへ



主な指標

	2018年3月期	2019年3月期 (計画)	2019年3月期 (見込)
設備投資額 (百万円)	644	900	900
技術研究費 (百万円)	1,776	1,950	1,950
減価償却費 (百万円)	972	1,100	950
有利子負債 (百万円)	15,484	16,000	15,500
従業員数 (人)	2,179	2,200	2,200
年間配当金 (円)	53	58	58
ROE (%)	5.5	5.2	6.8

目 次

1. 2019年3月期上期実績・通期見込
- 2. 中期経営計画進捗状況**
3. 会社概要

中期経営計画(2018~2020)

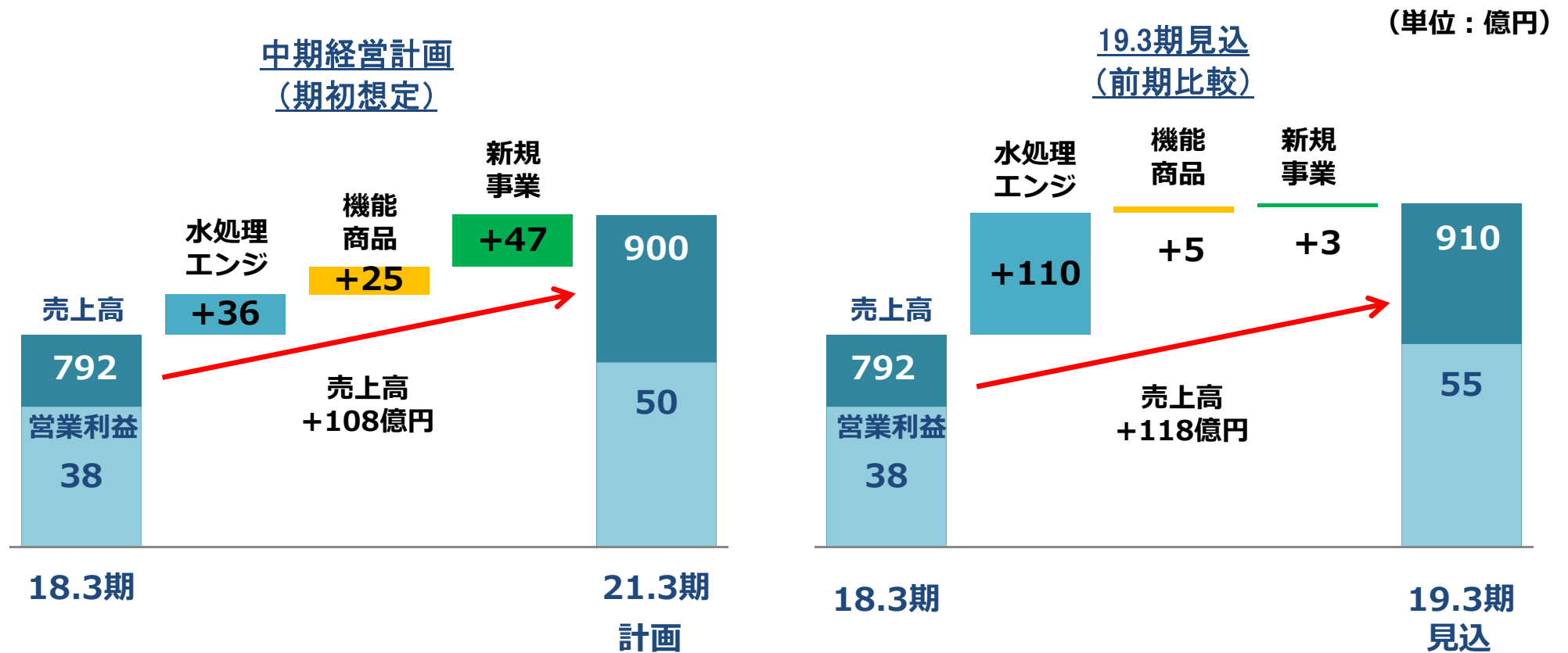
目標とする経営指標

2020年度 売上高 900億円／営業利益 50億円
連結ROE・営業利益率 5%以上を安定的に達成できる
収益構造を確立し、将来的には**ROE8%以上**を目指す

単位：億円	2018.3期 実績	2019.3期 計画	2019.3期 見込	2020.3期 中計	2021.3期 中計
受注高	880	870	980	880	900
売上高	792	890	910	880	900
営業利益(%)	38(4.8%)	42(4.7%)	55(6.0%)	43(4.9%)	50(5.6%)
ROE (%)	5.5%	5.2%	6.8%	5.2%	5.6%

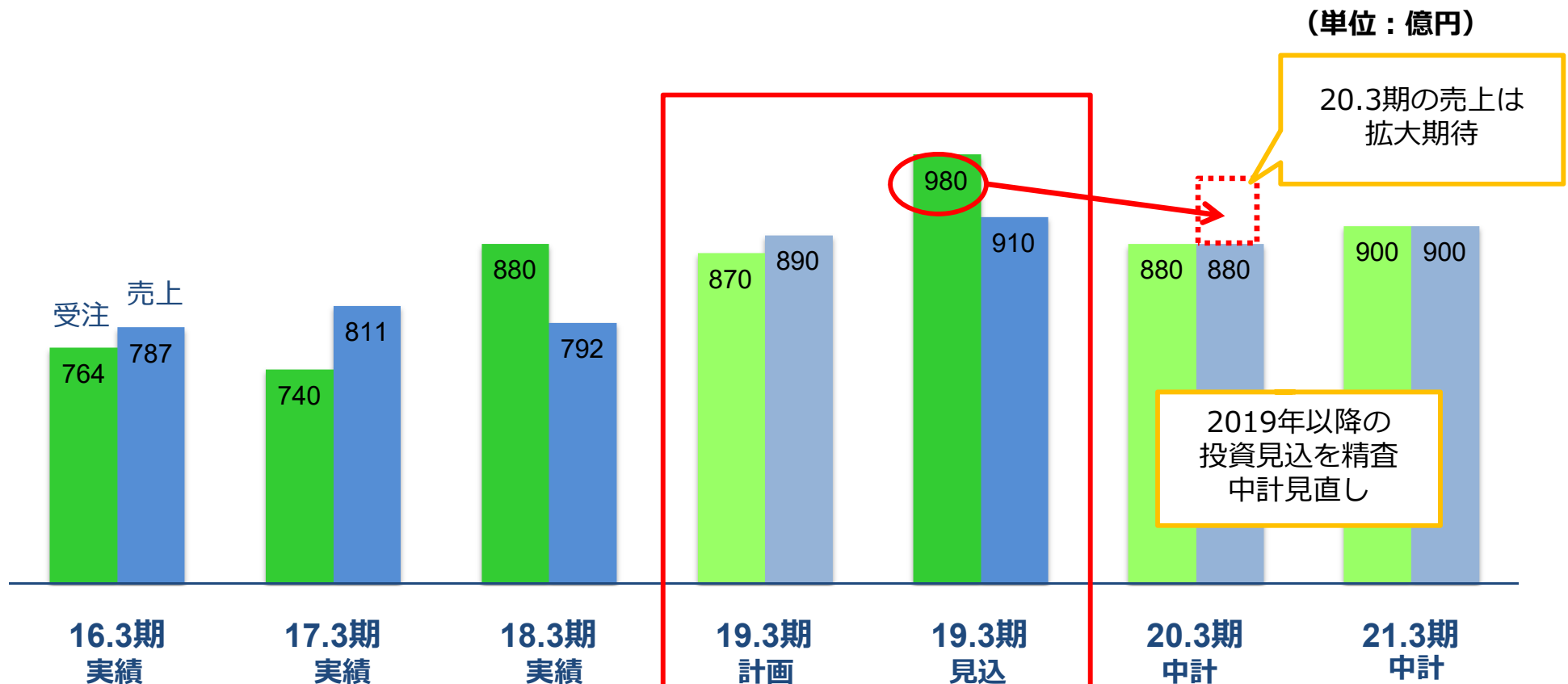
中期経営計画の状況

- 電子産業投資が好調。19.3期に中期計画目標を前倒して達成見込み
⇒期初時点では20.3期以降の電子産業投資の減速を想定
⇒成長分野として掲げる機能商品/新規事業の拡大は道半ば



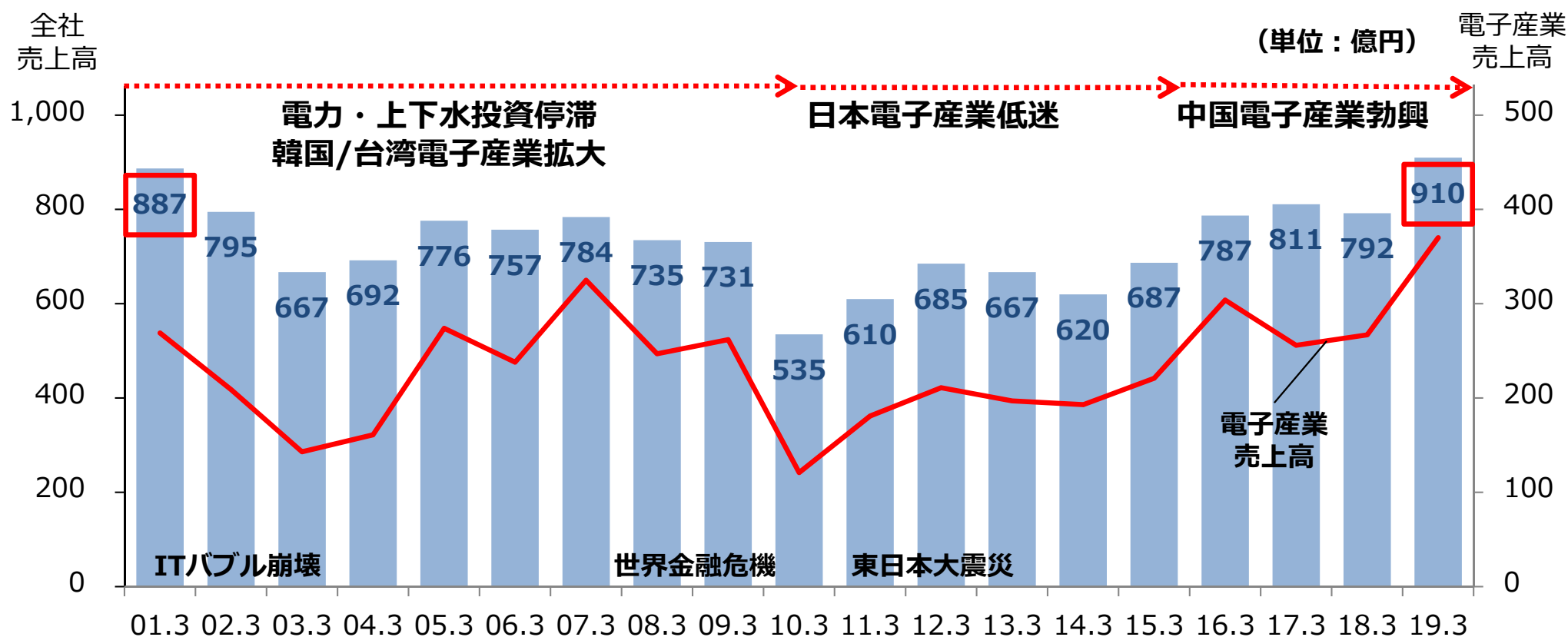
中期経営計画の見直し

- ・ 19.3期の受注は期初計画を上回る見込み。20.3期売上は拡大期待
- ・ 2019年以降の投資見込を精査し、中期計画の見直しを行なう
- ・ 機能商品の強化・新事業の開拓への取り組みは継続



オルガノ 長期業績動向

- ・ 2000年以降成長が停滞、19.3期は01.3期以来の売上レコード更新見込み
 - ・ 電子産業の設備投資動向が売上の増減に大きく影響
 - ・ 業績は比較的安定も事業構造は硬直化
- ⇒電子産業を中心としながらも、それに頼らない成長戦略が必要

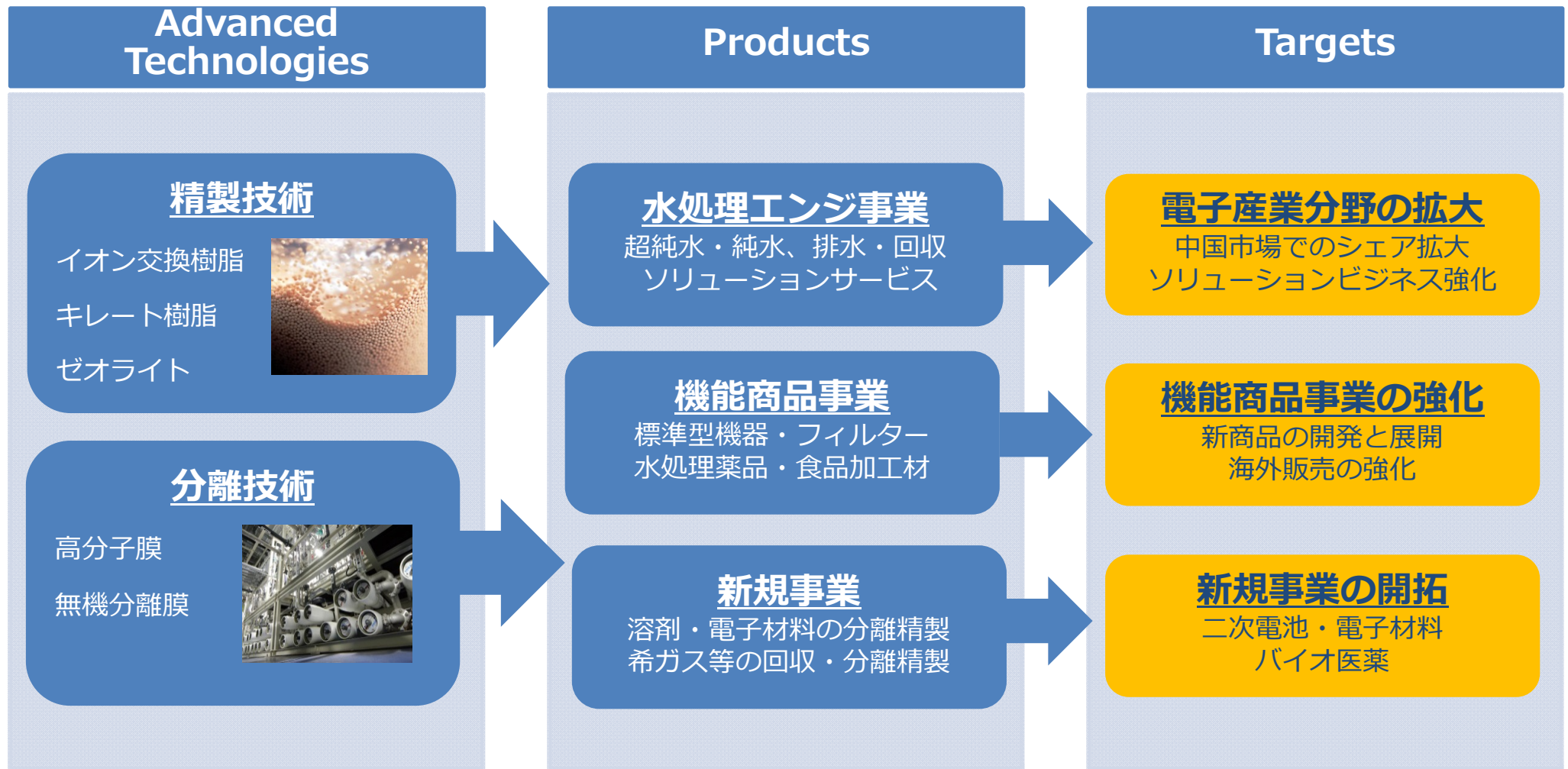


リスクの把握

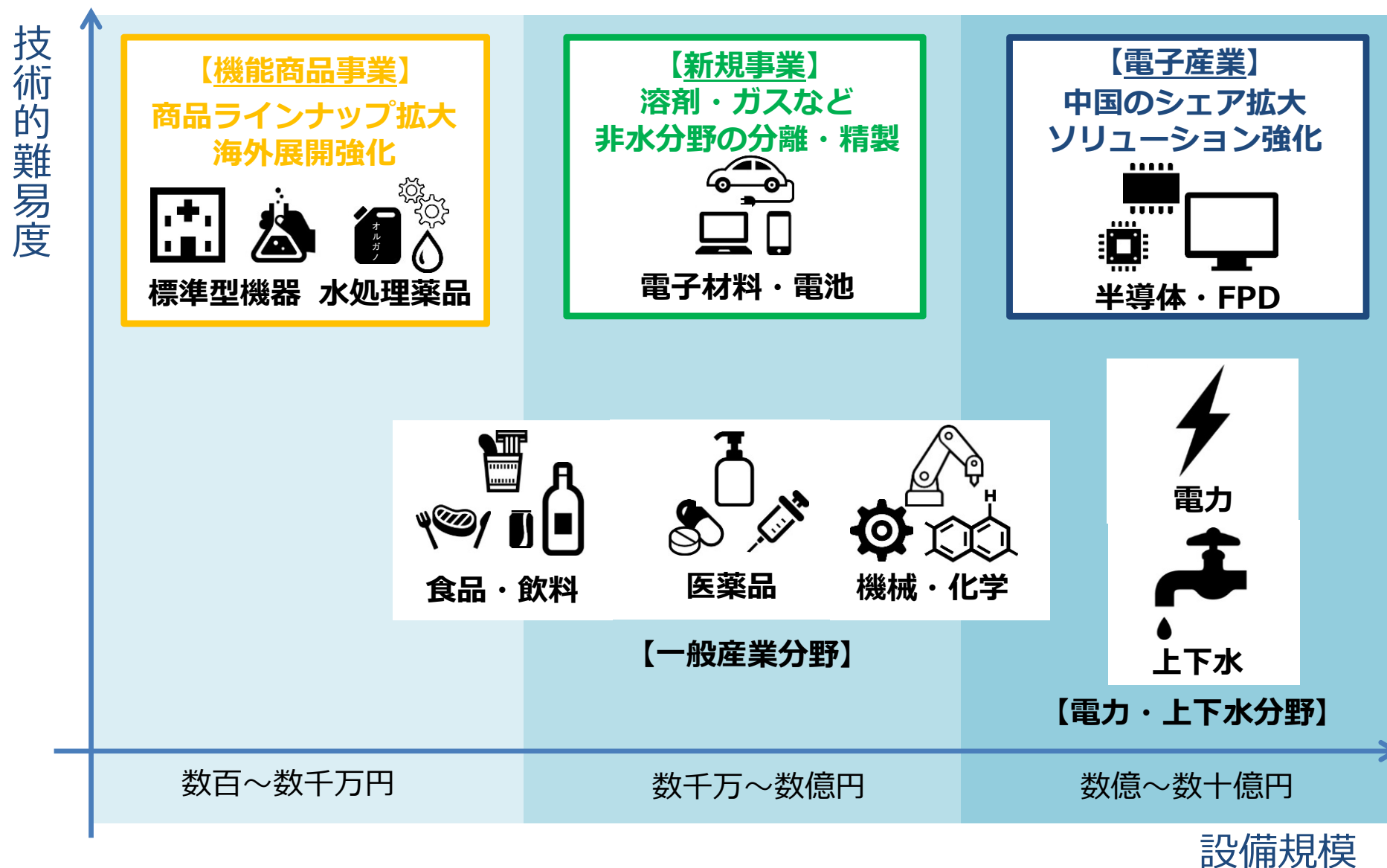
- **業績の向上が電子産業分野に大きく依存、電子産業の将来に不安要素が顕在化**
- **機能商品事業は主に国内で成長してきたものの国内市場には成熟感、海外では販売・サービス網の整備要**
- **Li二次電池材料・電子材料等の分野での急激な産業勃興と技術の進化に追隨できる開発、生産体制の整備**

中期経営計画 成長ターゲット

重点分野は 電子産業 機能商品 新規事業

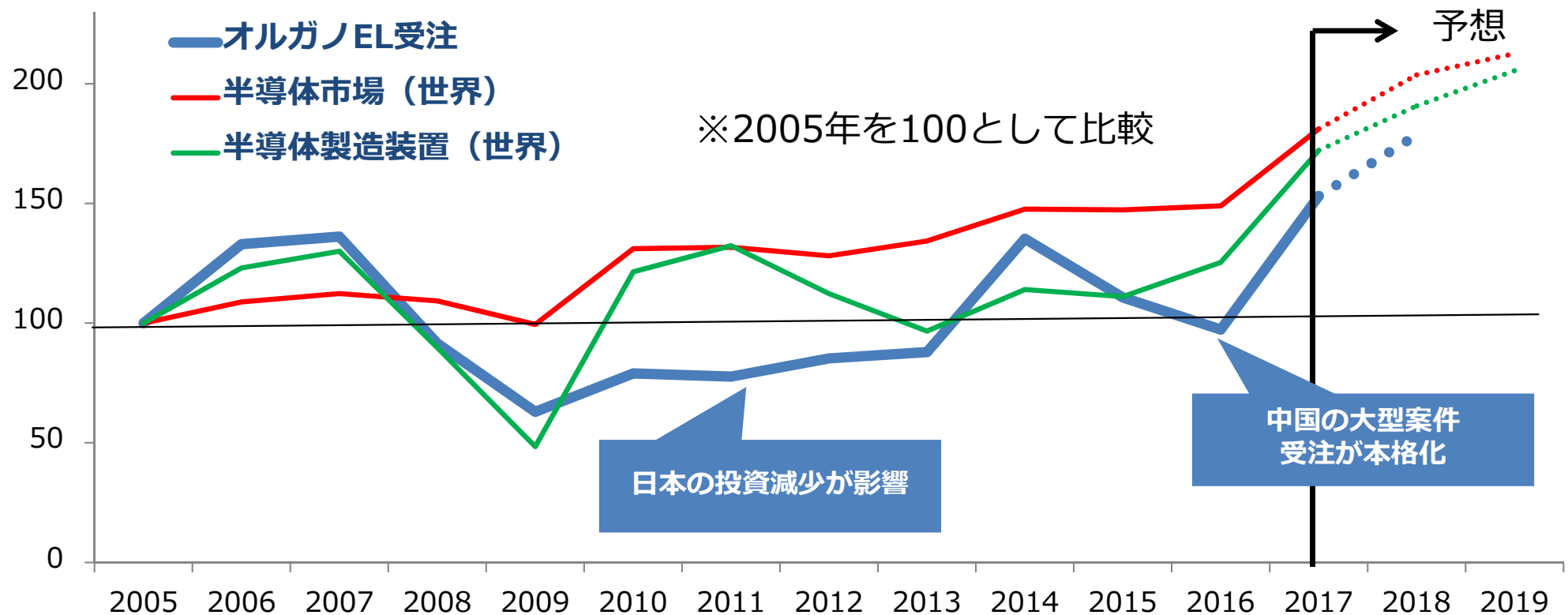


中期経営計画 成長ターゲット



電子産業市場動向

- ・ オルガノの電子産業業績は半導体製造装置動向に近い動き
- ・ 半導体製造装置の動向は変動幅大。現時点では拡大予想



出典：半導体市場(WSTS)・半導体製造装置市場(SEAJ)資料をもとに当社作成

中期経営計画 進捗状況 電子産業分野

電子産業分野の受注状況



■ 中国・台湾の受注好調

2017年以降、中国・台湾で半導体・パネル工場向けの大型案件受注続く。下期以降も複数の計画案件あり

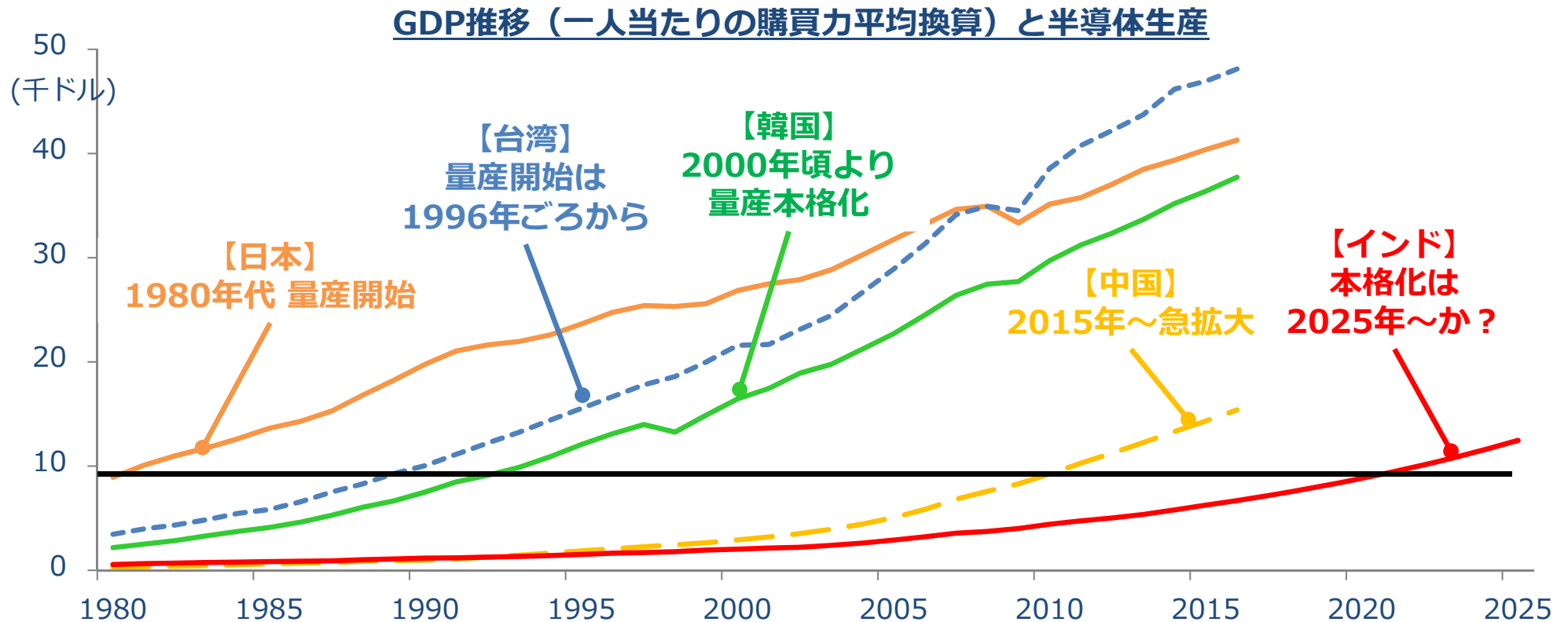
電子産業分野のリスク

■ 貿易問題・市況変動・設備過剰の影響

- ・ 米中の貿易摩擦の影響による中国の半導体投資の減速リスク
- ・ メモリーの需給ギャップによる生産能増の減速リスク
- ・ 大規模な半導体投資が続く中国の設備過剰懸念

インド市場への展開（電子産業）

- ・ 東アジア地域では一人当たりの購買力平価換算のGDPが1万ドルを超えると半導体生産が本格化
- ・ インドにおいても2025年ごろに半導体生産の開始を予想
⇒ インド子会社の技術力・納入体制強化に取り組む



中期経営計画 進捗状況 機能商品事業

新商品 ピューリック UP- α の上市

- **デスクトップタイプの 超純水製造装置 ピューリック UP- α 上市**
独自のイオン交換樹脂技術により
高純度の超純水を水道水直結型で実現
有機分析・バイオ実験市場に販売



海外展開の強化

- **中国・台湾・アジアでの機能商品販売強化**
 - ・ **臨床検査分析向けの標準型機器を中国市場で販売開始**
⇒販売・メンテナネットワークを構築
 - ・ **中国・台湾・ベトナムで水処理薬品販売を拡大**
⇒電子産業の生産設備向けの水処理薬品販売を強化

中期経営計画 進捗状況 新規事業分野（電池関連）

NMPリサイクル設備

■ NMPリサイクル設備

リチウムイオン電池の製造に用いられる溶剤（NMP）のオンサイトリサイクル設備を開発。成長著しい中国市場中心に営業展開。



二次電池 電解液の精製

■ 電解液の精製

リチウムイオンバッテリーなどの二次電池に用いられる電解液の不純物を精製する技術を開発。精製電解液の成分評価、また精製電解液を用いた電池の性能評価を中国の研究機関で評価中。

中期経営計画 進捗状況 新規事業分野

電子材料向け市場開拓

■ 半導体製造向け溶剤・ガス分離精製

半導体の微細化によって求められるレジスト・IPAなど各種溶剤の純度向上ニーズに向け、脱水・金属除去などの分離・精製技術確立を目指し実験を展開

バイオ医薬向け市場開拓

■ バイオ医薬向け

バイオ（抗体）医薬品の精製工程におけるコストダウンニーズをターゲットに連続精製クロマト装置を開発中。シンガポールの研究機関との共同研究を計画

中期経営計画 進捗状況

ソリューションサービスの強化

■ 上下水道向けの遠隔監視クラウドサービスを開始

上下水道施設の管理コスト削減や効率的な運転を実現するクラウド型の遠隔監視サービス「**オルトピアJクラウド**」を米子市に提供開始。水質の監視ポイント箇所数に応じた定額制サービスで、効率的な水質監視を低価格で実現。



目 次

1. 2019年3月期上期実績・通期見込
2. 中期経営計画進捗状況
3. 会社概要

会社概要

社 名	オルガノ株式会社（英名：Organo Corporation）		
本社所在地	〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号		
設 立	1946年5月1日		
代表者	代表取締役社長 鯉江 泰行		
資本金	82億2,549万9,312円		
従業員数	2,189名（連結） ※2018年9月30日現在		
主な 事業内容	水処理エンジ	プラント事業	大型水処理設備の製造販売
	ニアリング事業	ソリューション事業	設備のメンテナンス・運転管理・改造工事等
	機能商品事業		標準型水処理機器、水処理薬品、 食品添加剤の製造販売
主な 事業所	本社（東京都江東区）、開発センター（相模原市）、 つくば工場（つくば市）、いわき工場（いわき市）、 北海道支店（札幌市）、東北支店（仙台市）、 関東支店（東京都江東区）、中部支店（名古屋市）、 関西支店（吹田市）、中国支店（広島市）、九州支店（福岡市）		

オルガノグループ各社

【ベトナム】

オルガノ（ベトナム）

【タイ】

オルガノ（タイランド）

【マレーシア】

オルガノ（アジア）

【インド】

ムルガッパ・オルガノ・
ウォーターソリューションズ

【インドネシア】

ラウタン・オルガノ・ウォーター

【日本】

オルガノ
オルガノプラントサービス
オルガノエコテクノ
オルガノフードテック
オルガノアクティ
ホステック
東北電機鉄工(※)

【中国】

オルガノ（蘇州）

【台湾】

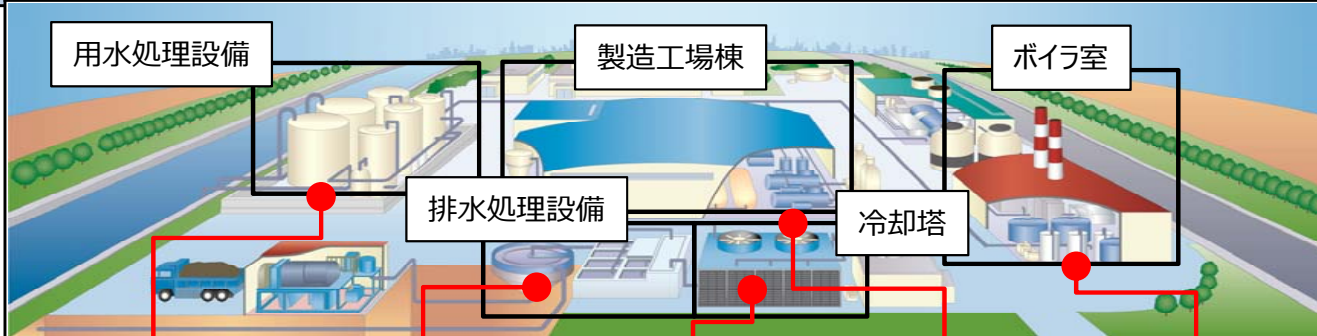
オルガノ・テクノロジー

(※)は持分法適用会社、下線は非連結子会社・関係会社

水処理エンジニアリング事業・事業概要

プラント事業	主な対象分野
最先端の高度な技術を組み合わせた さまざまな用途に適する 水処理関連設備 ◆ 用水製造設備（純水、超純水等） ◆ 排水処理・排水回収設備 ◆ 有価物回収設備 ◆ プロセス関連設備（糖類精製等）  	電子産業分野 半導体／液晶／各種電子部品等 電力分野 火力発電所／原子力発電所等
ソリューション事業	
水処理設備の最適な運用を実現するソリューションを提供 ◆ 消耗品交換・メンテナンス ◆ 運転管理 ◆ 改造工事 ◆ 水処理加工受託 	上下水道分野 上水道／下水道 一般産業分野 食品／飲料／医薬／化学／機械等

機能商品事業・事業概要

標準型機器・フィルター		水処理薬品	
標準型機器	研究機関・病院等での実験・分析・検査などに用いられる高純度の水を提供 ◆超純水製造装置 ◆純水製造装置  ピューリック・ピュアライトαシリーズ	 RO水処理薬品 スライムコントロール剤 スケール防止剤等 排水処理薬品 凝集剤・栄養剤・ 消泡剤等 冷却水処理薬品 スライムコントロール剤 分散剤等 洗浄薬品 化学洗浄剤・ スライム剥離剤等 ボイラ水処理薬品 脱酸素剤・分散剤・ 清缶剤等 工場やビルでさまざまな用途に 最適な水質管理を実現できる薬品	
	フィルター	飲料水やコーヒーなどに 適した美味しく安全な水 ◆コンビニ・厨房 ・カップ式自販機 など向けの浄水 フィルター等  オルガノフィルター D-4D	食品加工材 高齢者食、介護食市場や弁当・惣菜などの中食市場、 機能性食品・栄養補助食品などに向けた食品素材・食品添加剤など 時代の要請に応える食品加工材 ◆ゼリー、たれ等向けのゲル化剤、増粘剤 ◆たん白、食物繊維等の食品素材 等

オルガノ株式会社



お問合せ先

経営統括本部 経営企画部

TEL : 03-5635-5111 / FAX : 03-3699-7240 / E-mail : info@organo.co.jp

<https://www.organo.co.jp/>

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。